

小中一貫校の計画

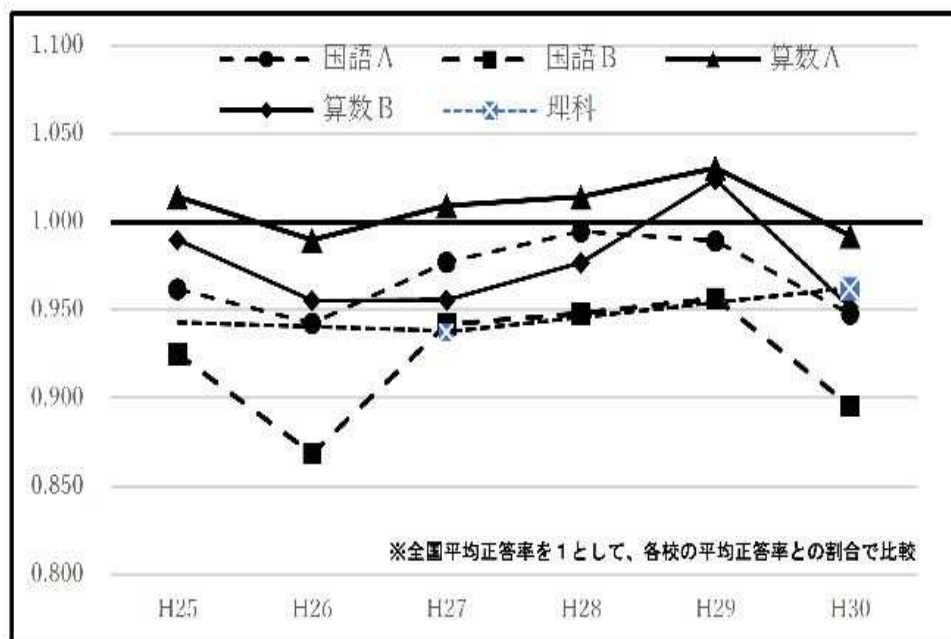
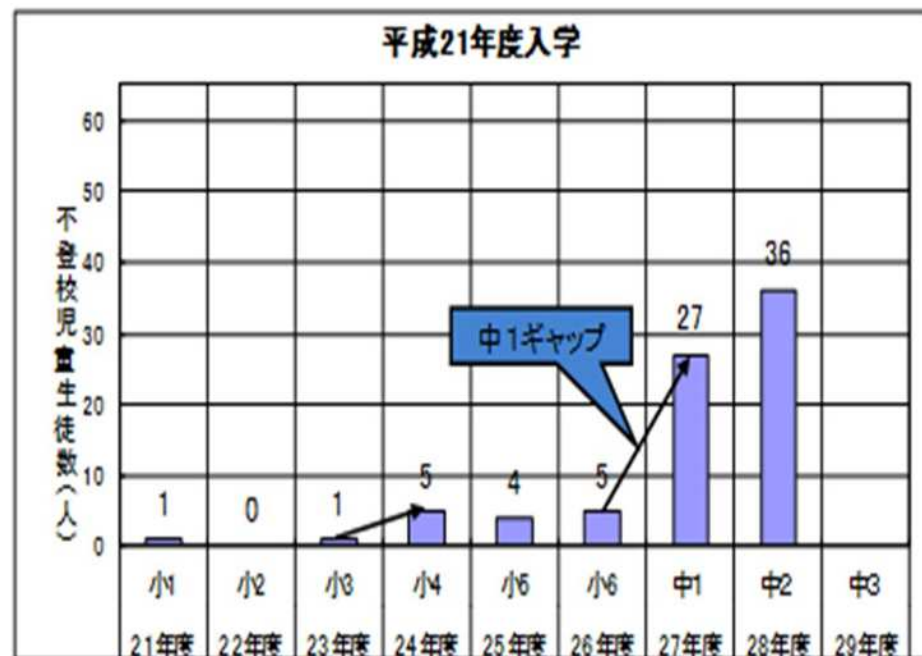
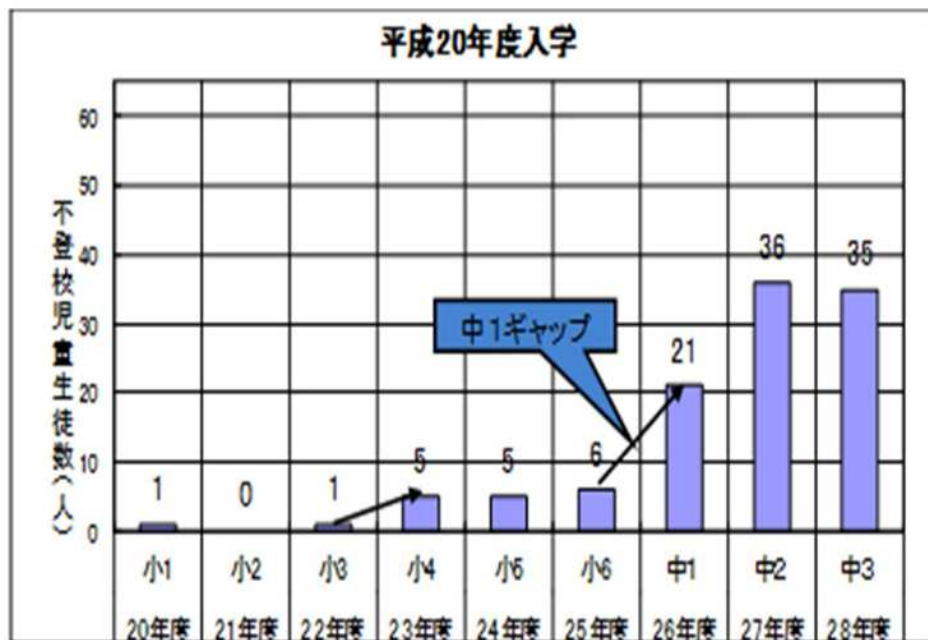
—建築からみた特徴・有意性を考える—



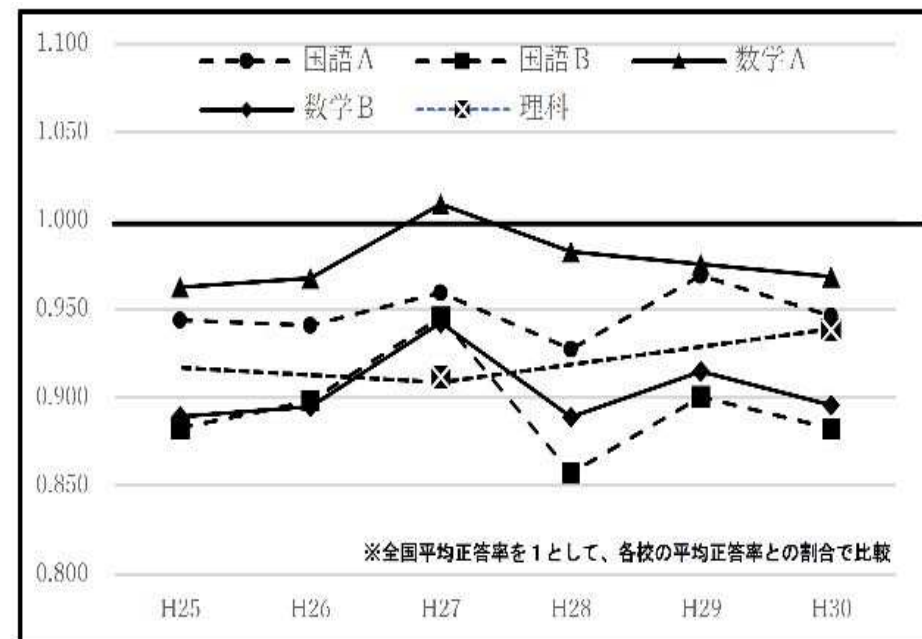
横山俊祐／大阪市立大学・名誉教授

中学校の問題：不登校の増加・学力の低下

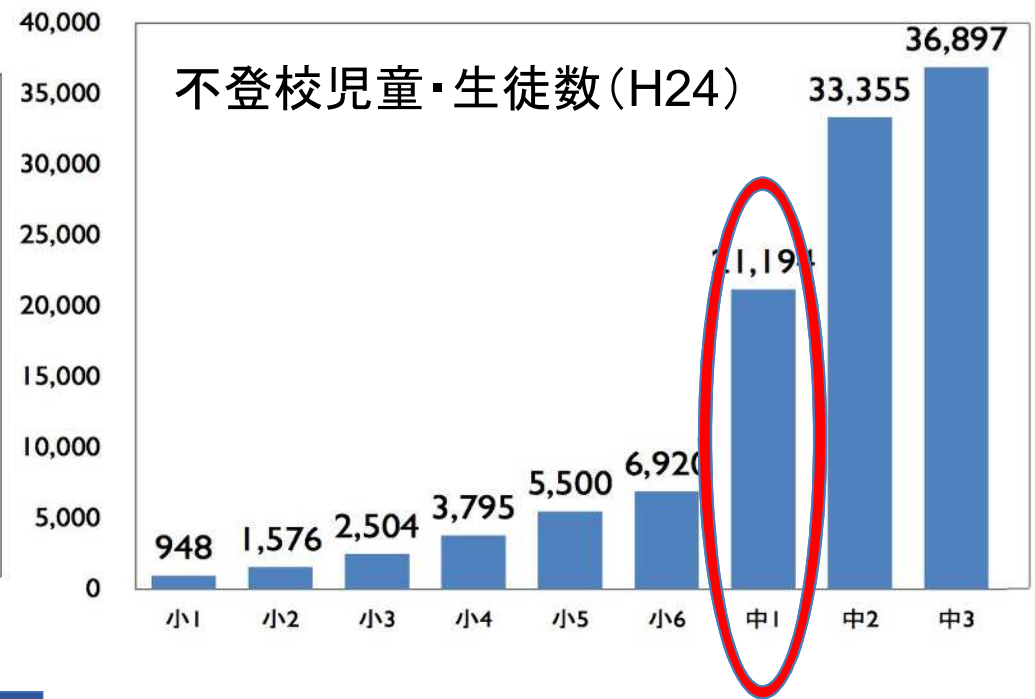
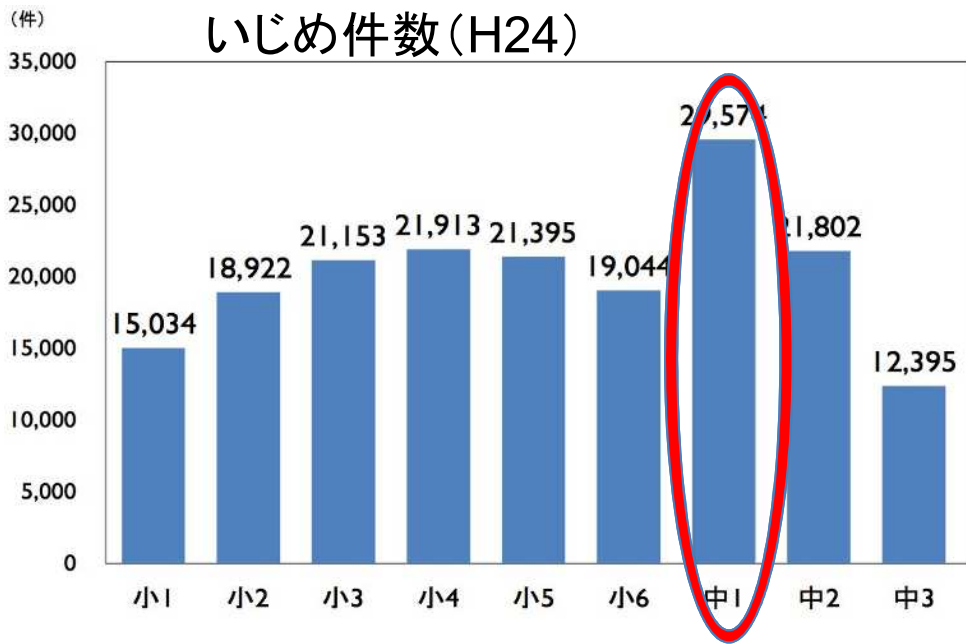
(I市)



学力(小学校)



学力(中学校)



中1 ギャップ→危機的な環境移行

物理的・精神的に大きな変化
(小学校→中学校)

- ・ 学校規模の増大：1学年の人数
- ・ 新教科（英語・数学など）、教科の高度化
- ・ 教師との関係の変化
：学級担任→教科担任
- ・ 受験に関わる学習成績の重視
- ・ 仲間関係の変化：日常生活圏→広域化
- ・ 生徒指導の重視
- ・ 思春期への移行

学習の理解・楽しさの減少
困りごとにおける勉強問題の増加

環境・心身の急激な変化に対応しきれない

- 9年間のスパンの中で計画的にそして継続的に教科指導や生徒指導を展開できる
- 異なる学年同士の交流を通して、豊かな人間性や社会性を育成することができる
- 教職員の意識を変革することができる

小中一貫校の取り組み

中1ギャップの解消⇒連続性・崖をスロープに

■ 学年のまとまりの転換

(小6と中1の接続)小・中の連続的变化

: 6・3制→4・3・2、5・2・2、5・4、4・5制

- ・学習の連続性
- ・教科担任制の早期導入
- ・多様な学習形態: チームティーチング、少人数

- 多様な集団活動
- ・縦割り集団

- 9年間の安定した学校・地域の連携
- ・コミュニティスクール
- ・地域学校連携活動

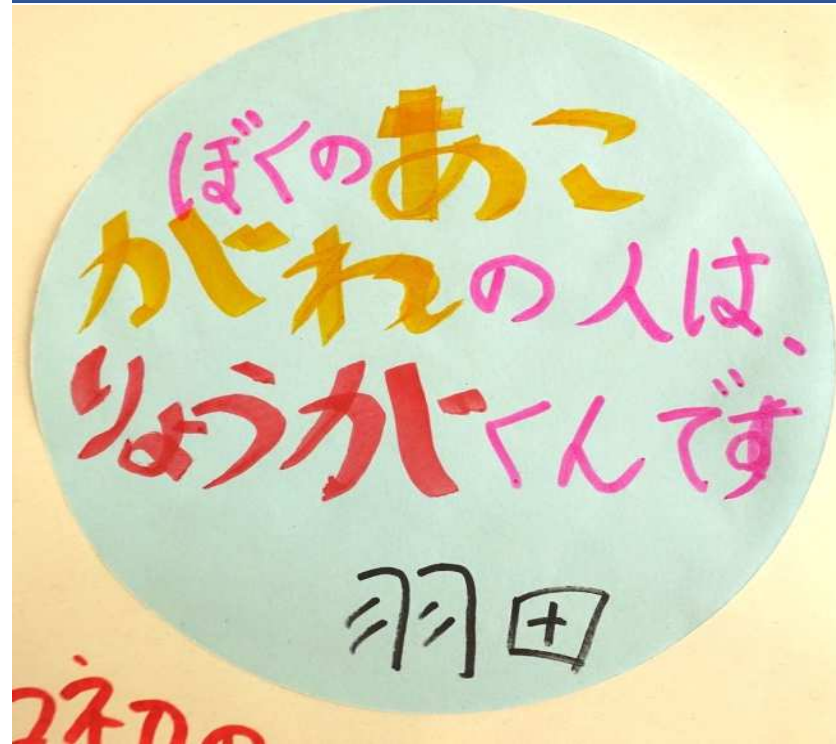
1年生	2年生	3年生	4年生	5年生	6年生	7年生	8年生	9年生
《学級担任制》 基礎・基本の定着を図る学習				《教科担任制》 個性・能力(適正)の伸長を図る学習				
読み・書き・計算の習得				基礎・基本を徹底し、学力の定着と能力を引き出す 習熟度別学習の充実			自学自習を重視	

期	前期				中期		後期		
学年	1	2	3	4	5	6	7	8	9
内 容	学びの土台作り 評				学び方の習得 評		自己学習力育成 評		
	学級担任制				学級担任制 一部教科担任制		教科担任制		
	T T 授業、少人数授業、合同授業								
	基本的な生活習慣、基本的な学習習慣の定着						自己学習力育成		

(参考) 小中一貫教育に関する制度の類型

		義務教育学校	小中一貫型小学校・中学校	
			中学校併設型小学校 小学校併設型中学校	中学校連携型小学校 小学校連携型中学校
設置者	—	同一の設置者	異なる設置者	
修業年限	9年 (前期課程6年+後期課程3年)	小学校6年、中学校3年		
組織・運営	一人の校長、一つの教職員組織	それぞれの学校に校長、教職員組織		
		小学校と中学校における教育を一貫して実施するためにふさわしい運営の仕組みを整えることが要件 例) ① 関係校を一体的にマネジメントする組織を設け、学校間の総合調整を担う校長を定め、必要な権限を教育委員会から委任する ② 学校運営協議会を関係校に合同で設置し、一体的な教育課程の編成に関する基本的な方針を承認する手続を明確にする ③ 一体的なマネジメントを可能とする観点から、小学校と中学校の管理職を含め全教職員を併任させる	中学校併設型小学校と小学校併設型中学校を参考に、適切な運営体制を整備すること	
免許	原則小学校・中学校の両免許状を併有 ※ 当分の間は小学校免許状で前期課程、中学校免許状で後期課程の指導が可能	所属する学校の免許状を保有していること		
教育課程	・9年間の教育目標の設定 ・9年間の系統性・体系性に配慮がなされている教育課程の編成			
教育課程の特例	一貫教育に必要な独自教科の設定	○	○	○
	指導内容の入替え・移行	○	○	×
施設形態	施設一体型・施設隣接型・施設分離型			
設置基準	前期課程は小学校設置基準、後期課程は中学校設置基準を準用	小学校には小学校設置基準、中学校には中学校設置基準を適用		
標準規模	18学級以上27学級以下	小学校、中学校それぞれ12学級以上18学級以下		
通学距離	おおむね6km以内	小学校はおおむね4km以内、中学校はおおむね6km以内		
設置手続き	市町村の条例	市町村教育委員会の規則等		

一貫校の効果



7年生のみんなは、
8・9年生に7年生来てると
とて可愛いかたです!!
あかたは"さ"ました😊
8年 岡田

- ・中学校への進学に関わる不安の緩和
- ・不登校、問題行動(いじめ、暴力)の減少
- ・思いやりや助け合いの気持ちの向上
 - ←上級生が下級生の手本となる意識
 - ←上級生に対する憧憬
- ・学習意欲、状況の向上、学力の向上、
 - ←9年間の学習や学習支援の体系化
 - ←小中教師間の協力、教科指導力の向上
- ・小中教員間での協力意識、相互理解の向上
- ・活動、体験の高度化、多様化
 - ←異年齢の幅の拡張、多様な交流や出会い



小中一貫の有意性／学習面

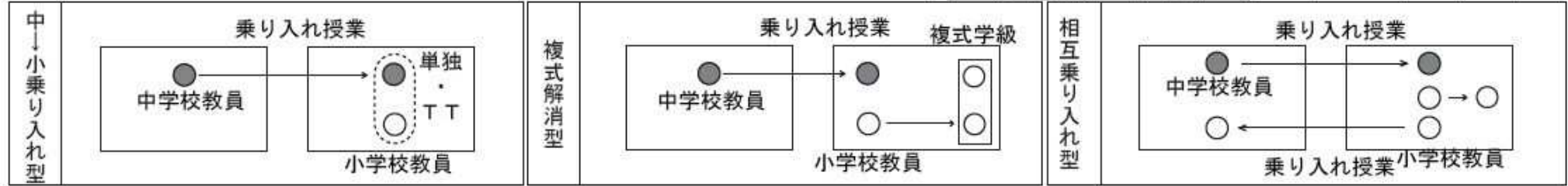
- ・ [クラスー教師] の固定的関係からの脱却、体系的な学習
- ・ 小中教師の相互乗り入れによる専門性の高い授業、教科担任制
- ・ チームティーチングなどのきめ細かな授業→個別最適化・協働型

表2. 小中一貫の相互乗り入れ授業

Mg 学園					Gk 小・中学校					Fm 学園					Oh 学院					Kg 学園					
学年	教科	乗入れ授業	授業形式	時間	学年	教科	乗入れ授業	授業形式	時間	学年	教科	乗入れ授業	授業形式	時間	学年	教科	乗入れ授業	授業形式	時間	学年	教科	乗入れ授業	授業形式	時間	
1年	体育	中→小	単独	102	3年	算数	小→小	単独	113	4年	理科	小→小	単独	105	1年	外国語活動	中→小	T.T	35	3年	音楽	中→小	単独	60	
2年	音楽	中→小	単独	70		理科	小→小	単独	66	5年	理科	小→小	単独	105		2年	外国語活動	中→小	T.T	35	4年	音楽	中→小	単独	60
3年	音楽	中→小	単独	60	4年	国語	小→小	単独	134		体育	小→小	単独	90		3年	外国語活動	中→小	T.T	35	5年	国語	中→小	T.T	20
	図工	中→小	単独	60		社会	小→小	単独	47	音楽	中→小	単独	50	4年			外国語活動	中→小	T.T	35		算数	中→小	T.T	105
4年	算数	中→小	T.T	175	5年	国語	中→小	単独	33	6年	理科	小→小	単独	105	5年		算数	中→小	T.T	175		理科	小→小	単独	105
	理科	中→小	単独	105		算数	中→小	単独	35		体育	中→小	T.T	90			理科	中→小	T.T	105		音楽	中→小	単独	50
	音楽	中→小	単独	60		理科	中→小	単独	29	音楽	中→小	単独	50	社会	中→小	T.T	90	図工	中→小	単独		50			
5年	算数	中→小	T.T	175		社会	中→小	単独	35	7年	社会	小→中	単独	105	5年	図工	中→小	T.T	50	体育	小→小	単独	55		
	音楽	中→小	単独	50		音楽	中→小	単独	43		技術	小→中	単独	70		家庭	中→小	T.T	60	外国語活動	中→小	T.T	35		
	体育	中→小	単独	90		外国語活動	中→小	単独	28	保健体育	小→中	単独	105	6年	体育	中→小	T.T	90	6年	国語	中→小	T.T	20		
外国語活動	中→小	T.T	35	6年	国語	中→小	単独	32	8年	技術	小→中	T.T	70	6年	国語	中→小	T.T	175		算数	中→小	T.T	105		
6年	社会	中→小	T.T		105	算数	中→小	単独		18	保健体育	小→中	単独		105	算数	中→小	T.T		175	理科	中→小	T.T	105	
	音楽	中→小	単独		50	理科	中→小	単独	19	9年	技術	小→中	T.T	70	社会	中→小	T.T	90		音楽	中→小	T.T	50		
	体育	中→小	単独		90	社会	中→小	単独	24		保健体育	小→中	単独	105	音楽	中→小	T.T	50		図工	中→小	T.T	50		
外国語活動	中→小	T.T	35		音楽	中→小	単独	42	外国語活動		中→小	T.T	35	家庭	中→小	T.T	60	体育	中→小	T.T	90				
						外国語活動	中→小	単独	28						6年	図工	中→小	T.T	50	美術	小→中	T.T	50		

注釈

- ・ 乗り入れ授業の小→中等は、教員の動きを示している。
- ・ 時間は、1クラスの年間の乗り入れ授業の時間数を示している。
- ・ 小学校1～4学年の教科項目の外国語活動は、総合的な学習の時間を使っている。
- ・ 中学1～3年をここでは、7～9年で示している。



教師の相互乗り入れ：専門性、T.T(チームティーチング)学習・少人数



専門性の高い学習(中学の音楽教師)



少人数学級



チーム・ティーチング(小学+中学教員)

1年CRT結果 2019年2月実施

	国語	社会	数学	理科	英語
鞆中	68.4	68.7	66.1	73.3	74.9
全国	63.8	64.0	57.1	67.9	66.8
差	+4.6	+4.7	+9.0	+5.4	+8.1

2年CRT結果 2019年2月実施

	国語	社会	数学	理科	英語
鞆中	66.3	68.0	63.4	75.7	65.3
全国	65.6	64.9	61.9	66.3	60.6
差	+0.7	+3.1	+1.5	+9.4	+4.7

表3. 学校独自の取り組みの集団編成

	Fm 学園	Hs 小中学校	Kg 学園
1	縦割り遠足 ○マラソン大会 福祉体験学習 ○明郷タイム	選書会 カルタ・百人一首大会 ○日曜参観 ○雲取山登山 俳句集会	○縦割り班遠足 ○日曜参観 ○PTA神楽鑑賞 いじめ撲滅キャンペーン
2	部活動体験(6~9) 江田島合宿(5・8) ○総踊り(6~9)	○地域の日 ○花脊わくわくバンド ○鼓笛フェスティバル ○音楽鑑賞会 ○花脊わくわくバンド演奏会	○Kg ジョギング大会 ○Kg 町民大運動会 小中合同避難訓練 ○縦割り異学年交流
3	ピア・サポート トレーニング(4~6) ○公園訪問(1・2) 社会科「動物園」(1・2) 社会科「製造業」(1・2) 6年生を送る会(1~6) ○まちたんけん(1・2) なわとび集会(3・5) 府中子供フェスタ(3~5) 防犯紙芝居(5・6)	○科学センター学習(4~8) ○ダンス教室(1~8) 読み聞かせ(1~3・5) ○別所井戸端展(5~9)	8年合唱(1~6・8) 3・8交流活動(3・8) 立志式(6・7) 音楽交流(3・9) 4・9パリ活動(4・9) ○2・7交流活動(2・7) 部活動参加(6~8) 国語科交流授業(1・2・9)
4	マナー講座(7~9) JAL 特別講座(7~9)	○音読発表会(1~5) ○山の家宿泊学習会(1~6) ○「山椒煮」作り(3・5) ○秋の遠足(1・2) イーグル作製(1~4) ○鮎の友釣り体験(5・6) 1年生を迎える会(1~6)	○1年生を迎える会(1~6) 犯罪防止教室(4~6) ○邦楽鑑賞(5・6) 進水式見学(5・6) ○Kg 地区文化祭(1~6) ○よっしゃこい踊り披露(3・4)
5	○ミニ運動会(1) 歯の健康(3) ○昔の遊び(1) ○PTC活動(1~6)※ 田植え・稲刈り体験(5) ○しめ縄づくり(6) ○大日学園祭(6) ○芋ほり(2) ○府中焼き作り(5) ○職場体験学習(8) ○秋の交通パレード(6)	○野菜栽培(8) ○ちまき作り(3) ○川探検(2) ○まち探検(2) ○生き方探求チャレンジ 体験学習(8) ○社会科「ろくろ体験」(6) ○社会科「花脊友禅」(4) ○「学校の案内板」作製(5)	○焼いも交流会(1) ○交通安全教室(1) ○地域での学習(2) 2分の1成人式(4) ふれあい体験学習(6) ○殉国の塔慰霊祭(8) 職場体験(8) ○創作神楽(9)

学年の幅の広さを活用した
集団編成と活動の多様化
異学年交流

※単独小・中学校よりも多
様な編成と活動

- 1: 全校型
2: 小学(1学年)
+ 中学(1学年) 連携型
3: 小学校縦割り型
4: 中学校縦割り型
5: 学年単独型
(○: 地域連携型)

一貫校の有意性：何を学ぶか、いつ学ぶかの裁量権を有する

教育課程特例校制度

×

社会に開かれた教育課程

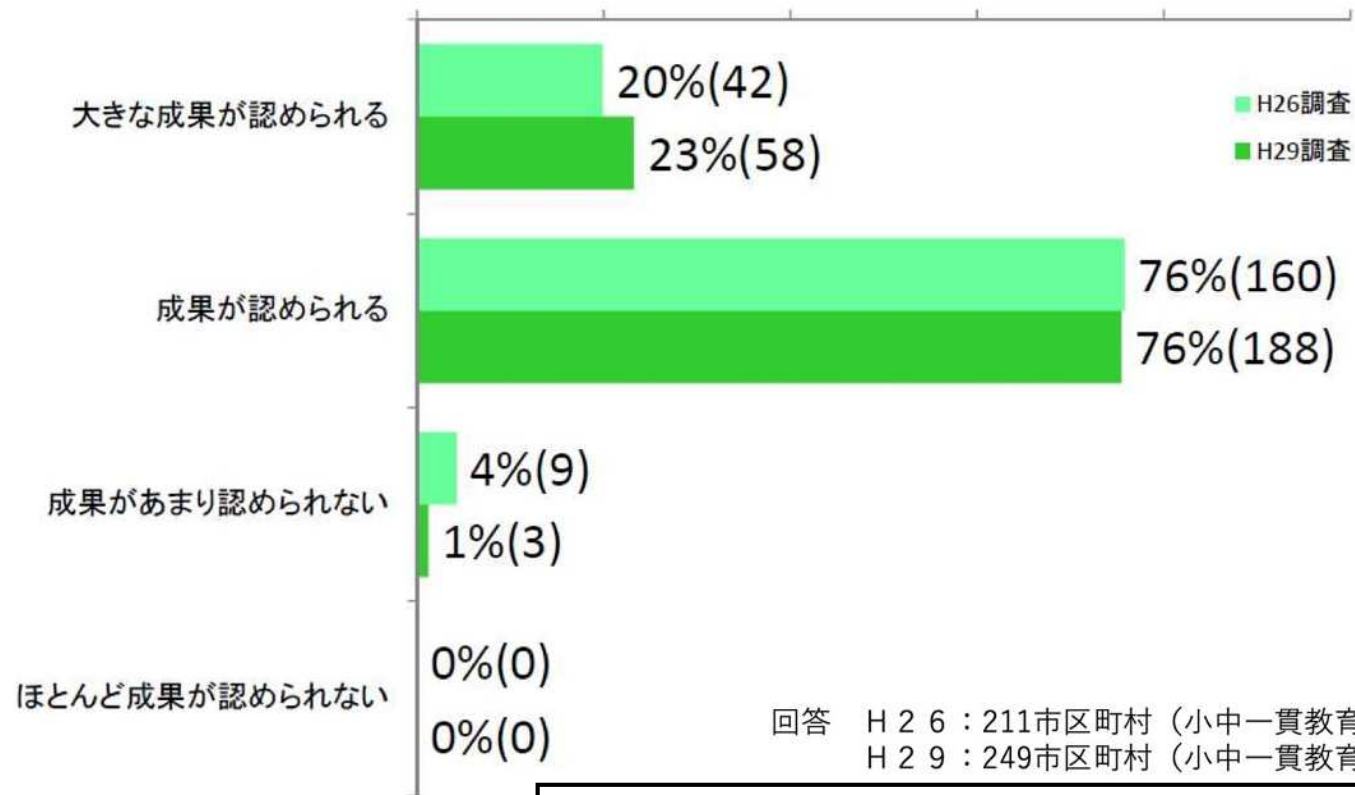
小学校、中学校の教育課程は、学校教育法施行規則及び学習指導要領により、教科等及び標準指導時間、教科等の目標や内容が定められている。

義務教育学校、併設型小・中学校では、小学校、中学校の教育課程を基本にしつつ、その特例として、学校の特色や子どもたちの実態に応じて、新教科等の創設（既存の社会科、家庭科、総合的な学習の時間等の内容の一部を統合し、ふるさと科、防災科など小中一貫教科を新設）や、学年段階間・学校段階間での指導内容の入替え等（例：小学校低学年からアルファベットを指導、中学校数学の負の数を小学校算数で指導、小学校図画工作の木材加工の指導の一部を中学校美術で指導など）が可能

+

授業時間：45分→50分／5・6年

一貫校の成果



(学習面)
勉強が好きと答える児童生徒が増えた (71%)
全国学力・学習状況調査の結果が向上した (61%)

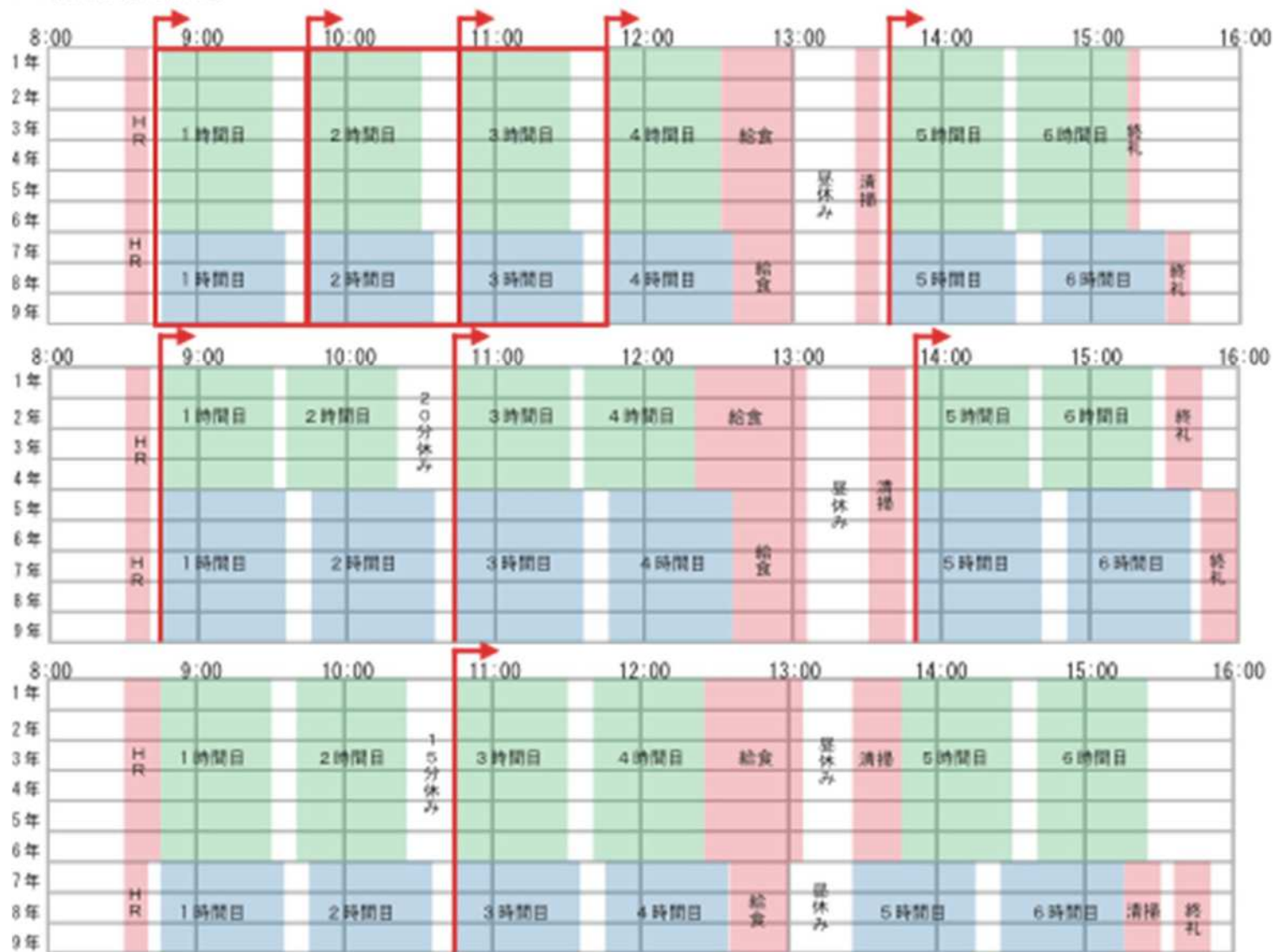
(生徒指導面)
中学校への進学に不安を覚える児童が減少した (96%)
上級生が下級生の手本になろうとする意識が高まった (94%)

(教職員の協働)
小・中学校共通で実践する取組が増えた (98%)
教員の教科指導力の向上につながった (87%)

※H29調査において、公立学校で、「大きな成果が認められる」「成果が認められる」と回答した割合

小中一貫校の計画：小中の関係／時間割の調整

時程編成の特徴



小学校：45分授業
中学校：50分授業

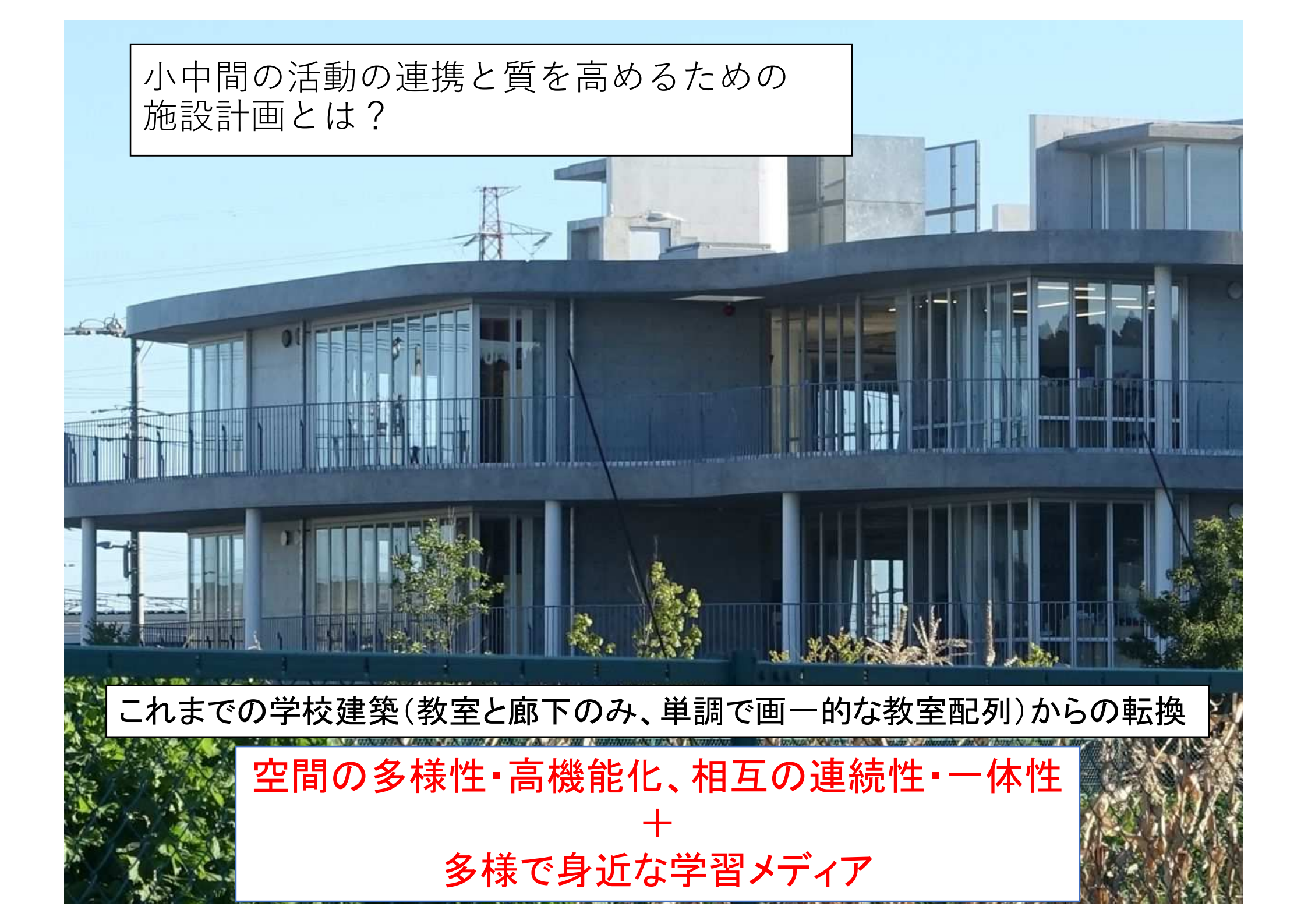


※近年の傾向

小学校5・6年
:50分授業

備考	To：1～6年：45分授業・15分休み / 7～9年：50分授業・10分休み
	Sa：1～6年：45分授業・10分休み・昼休み15分 / 7～9年：50分授業・10分休み
	Ta：1～4年：45分授業・5分休み・昼休み20分 / 5～9年：50分授業・10分休み

：全学年で授業時間＋休み時間を1時間単位で統一 Ta：休み時間を工夫して授業開始時間を3つ合わせる
：授業開始時間を合わず考慮をあまりしていない



小中間の活動の連携と質を高めるための
施設計画とは？

これまでの学校建築(教室と廊下のみ、単調で画一的な教室配列)からの転換

空間の多様性・高機能化、相互の連続性・一体性

+

多様で身近な学習メディア

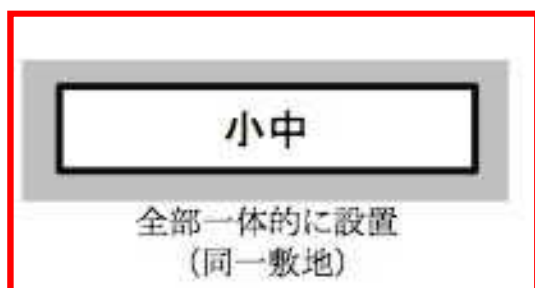
一貫校の特質

- 多様性：小学校・中学校単独では得られない
ヒト（児童・生徒・教師・地域・集団・学校社会）
モノ（空間・物的環境）
コト（学習・生活・特別活動）の多様化
- 関係性：多様なヒト・モノ・コトの関係化や交流、連関による多様で
質の高い活動や意識の創発
：相互理解による新たな意識・取り組み
- 時間性：発達段階の意識化、学齢に応じた適切な環境・学び
：発達段階に応じて連続的に、徐々に（グラデーショナルに）
移行、発展する取り組み
- 体系的性：6年＋3年→9年間を通した長期的な学びの体系化

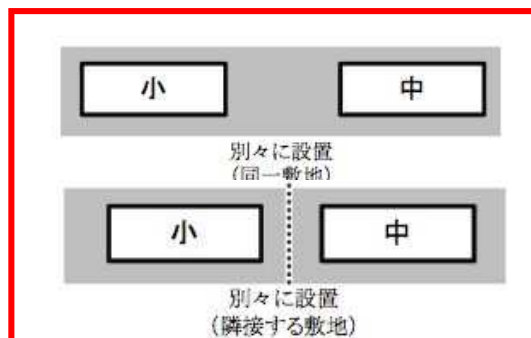
ハード・ソフトで特質をどう活かすのか

表9 小中一貫教育の総合的な結果の認識状況

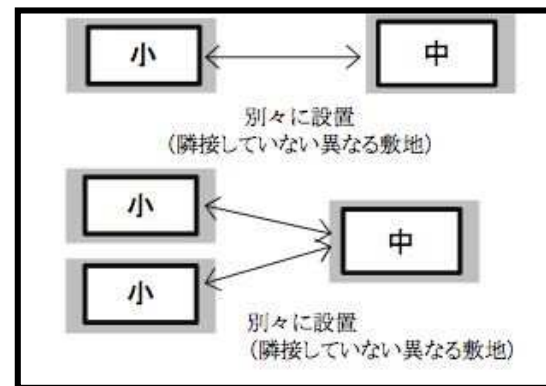
		小中一貫教育の総合的な成果認識				合計
		大きくある	ある	あまりない	ほとんどない	
施設一体型	学校数	37	101	4	0	142
	割合	26.1%	71.1%	2.8%	0.0%	100.0%
施設隣接型	学校数	6	39	4	1	50
	割合	12.0%	78.0%	8.0%	2.0%	100.0%
施設分離型 (一対一)	学校数	21	131	19	2	173
	割合	12.1%	75.7%	11.0%	1.2%	100.0%
施設分離型 (一対多)	学校数	43	555	98	4	700
	割合	6.1%	79.3%	14.0%	0.6%	100.0%
その他	学校数	5	44	8	0	57
	割合	8.8%	77.2%	14.0%	0.0%	100.0%
合計 (公立全体)	学校数	112	870	133	7	1,122
	割合	10.0%	77.5%	11.9%	0.6%	100.0%



一体型



隣接型



分離型

「どのような一体型を計画するか？」／連携に向けて

領域構成	新築	増築・改修
 <p>完全一体型</p>	とどろみの森学園 照葉小中学校 白嶺小中学校 山田小中学校	和泉小中学校 豊里小中学校
 <p>断面分離一体型</p>	日野学園 伊藤学園 荏原平塚学園 品川学園	花背小中学校
 <p>平面分離一体型</p>	新田学園 神通碧小学校・楡原中学校	八潮学園 湖南小中学校 明健小中学校 村山学園
 <p>平面分離共有型</p>	王子小・王子桜中学校 芝園小中学校 府中学園	府中明郷学園
 <p>一部増築一体型</p>		平岩小中学校 小呂小中学校

平面・断面計画

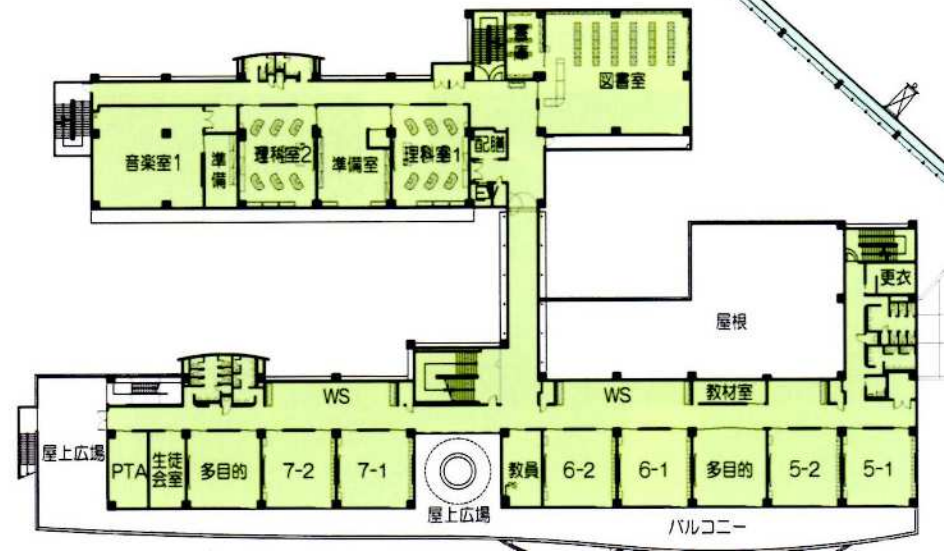
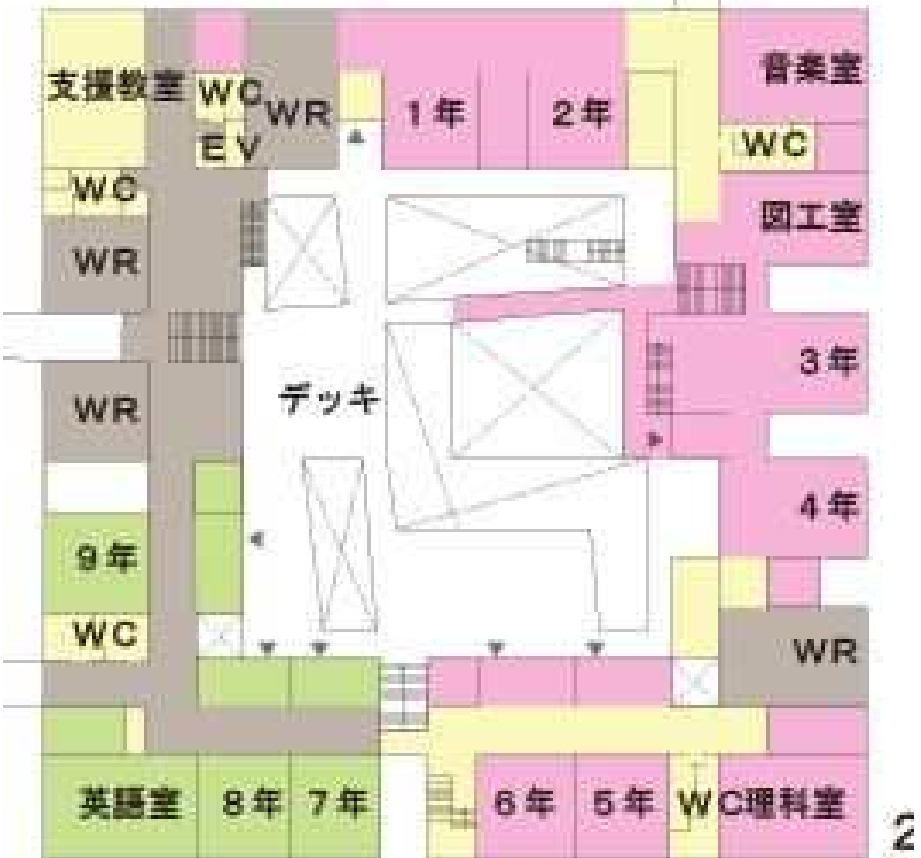
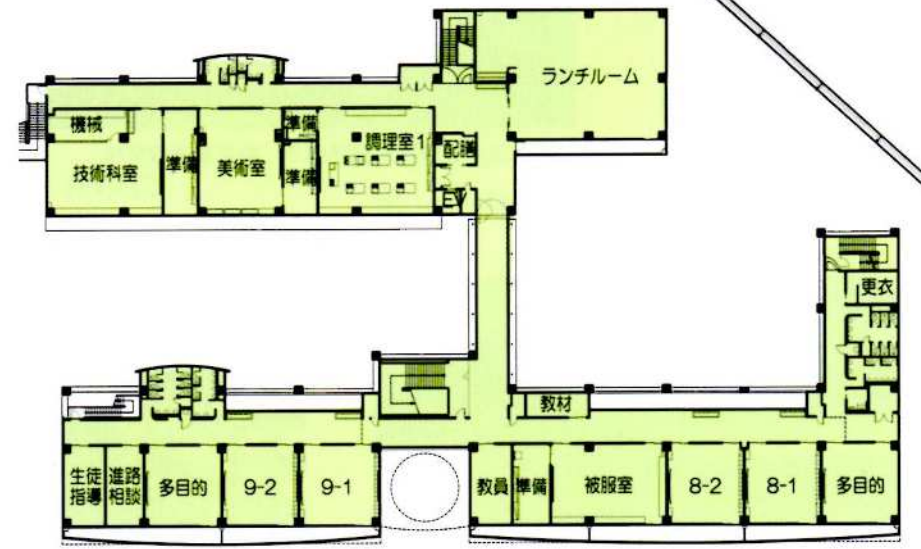
関係性を創り出す
：出会いの機会を高める

多様性を享受する

段階的・グラデーショナルに移行する

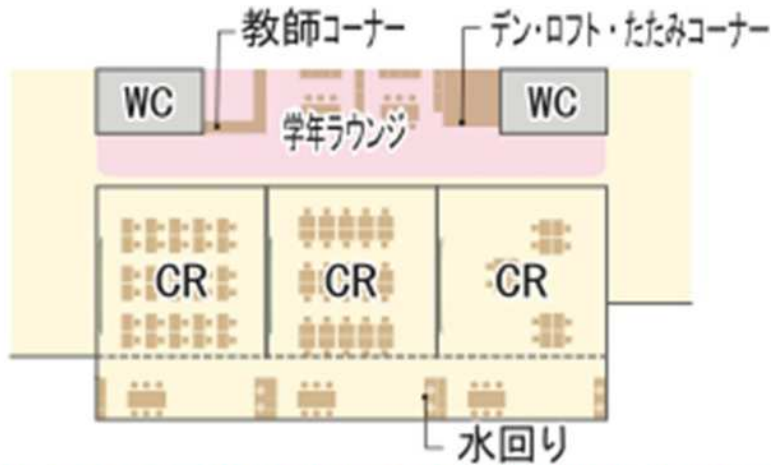
共用化を進める

学年配置「6・3→4・3・2」
 : 小中の接続の重視 (特に6年生・7年)



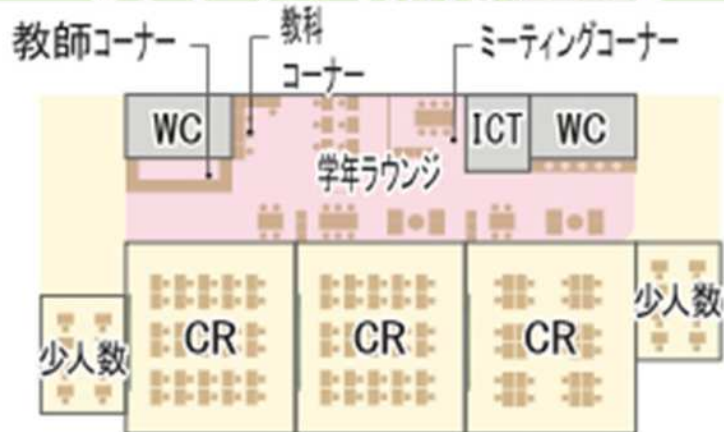
一貫校ゆえに発達段階の意識化：発達段階に対応・グラデーショナルな移行
 ⇒学習環境の質的向上：低・中・高学年による教室計画の差異
 ／小1～2：総合教室型 ／小3～6（7）：特別教室型（オープンスペース）
 ／中2（1）～3：教科メディアセンター型・教科教室型

【低学年：総合教室型】



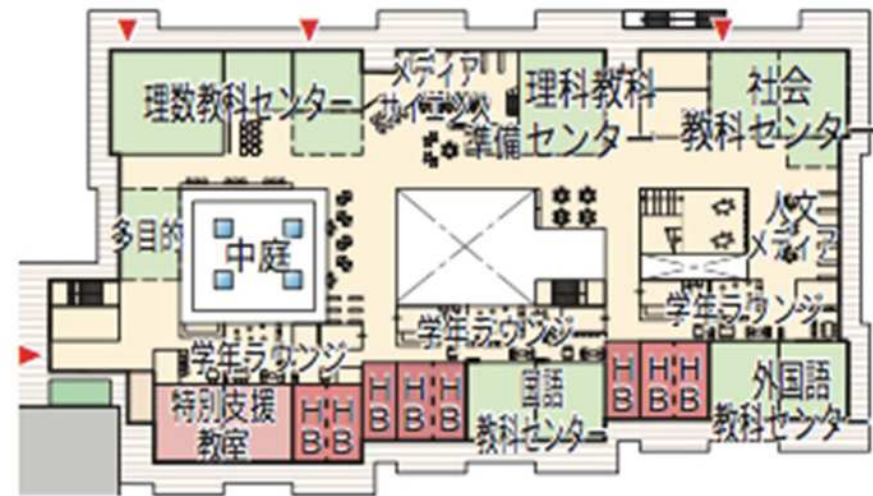
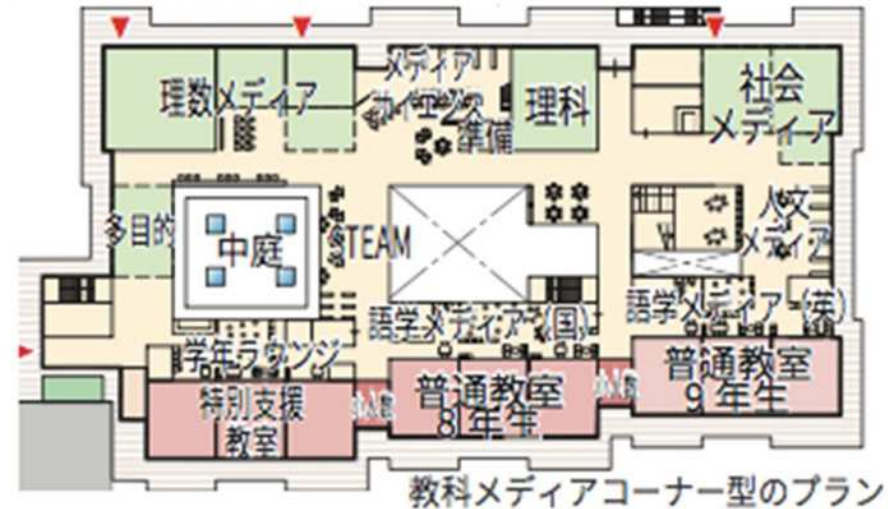
子どもたちの居場所となるゆったりとした設え

【中学年：特別教室型】

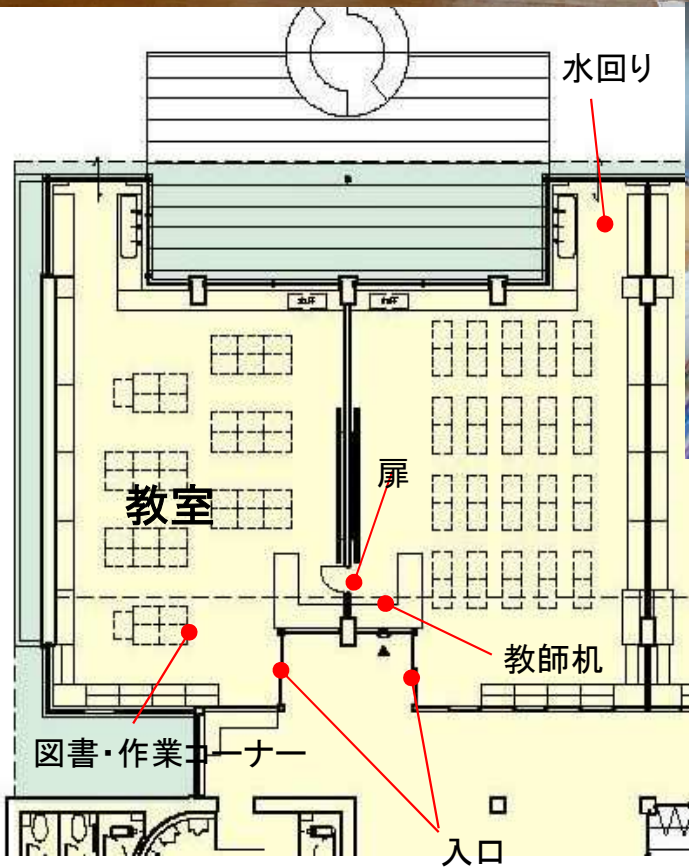


さまざまな活動に適応する空間

【高学年：教科教室型】

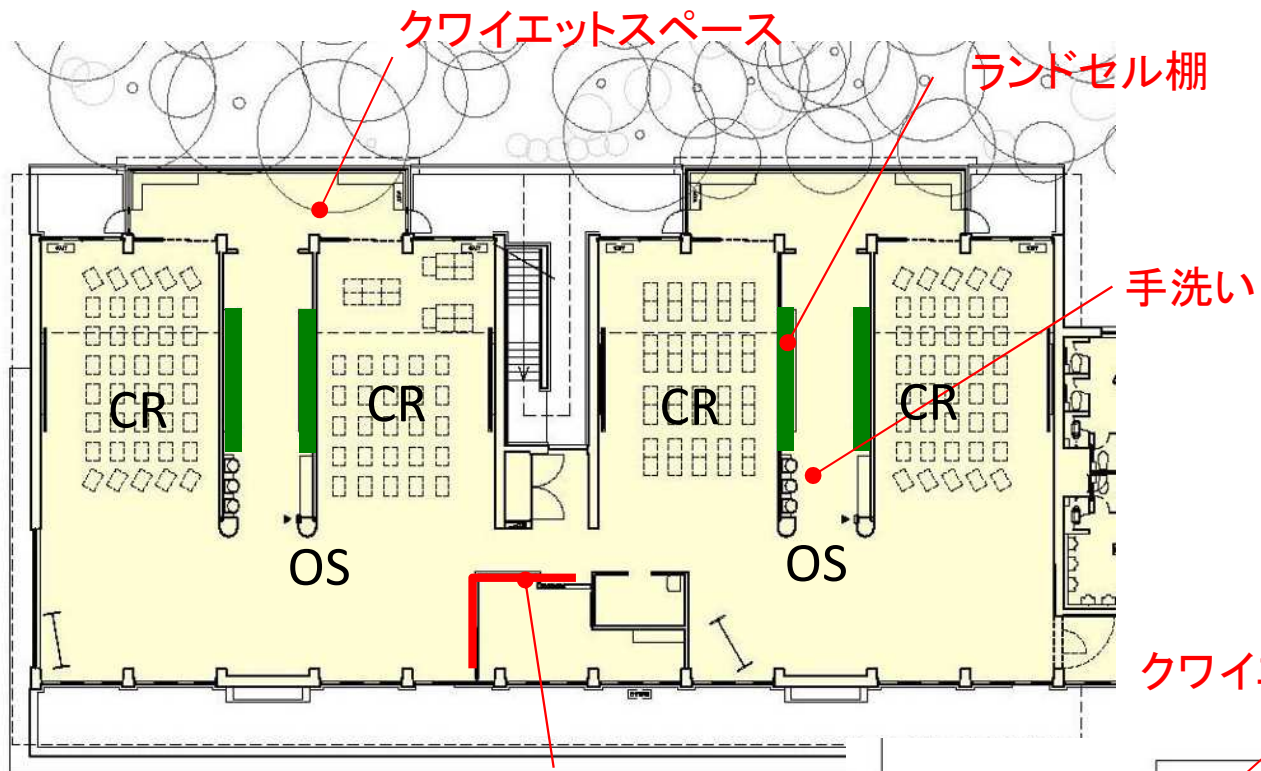


教科教室型より自発的に学びをサポートするプラン



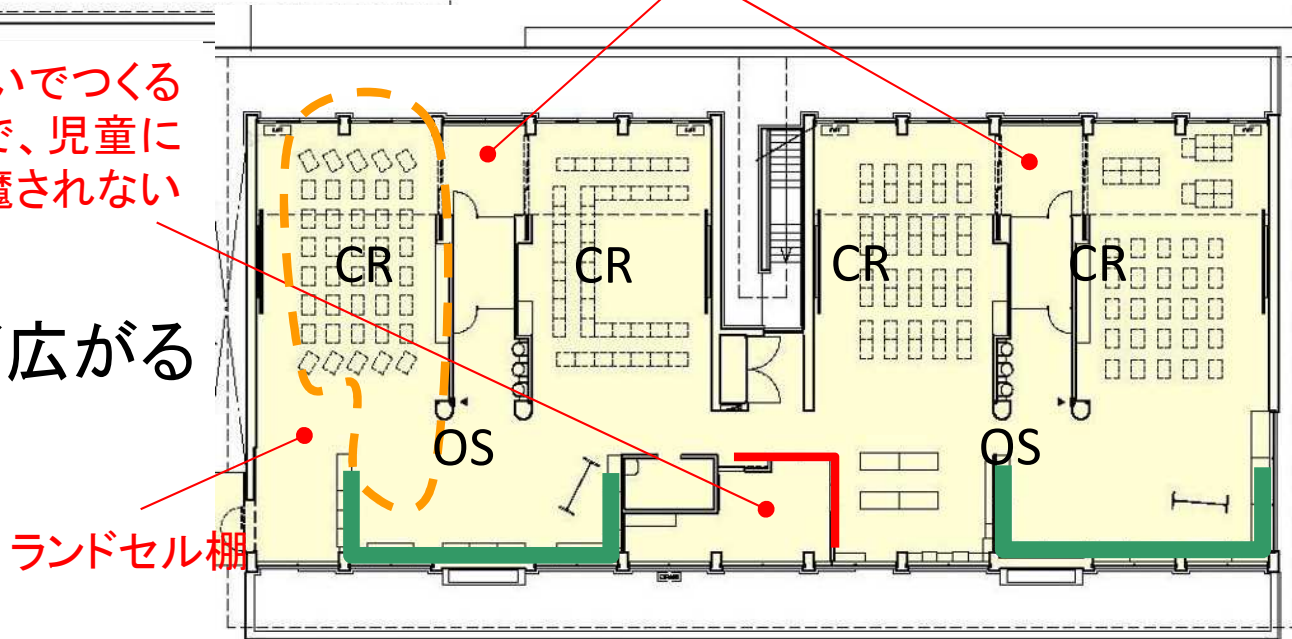
教室のつくりー低学年
:総合教室型

図書・作業コーナー



教師コーナーはガラスの囲いでつくる
(空調)。5人分のスペースで、児童に
目が届き、かつ、時には邪魔されない
つくり

領域感が広がる



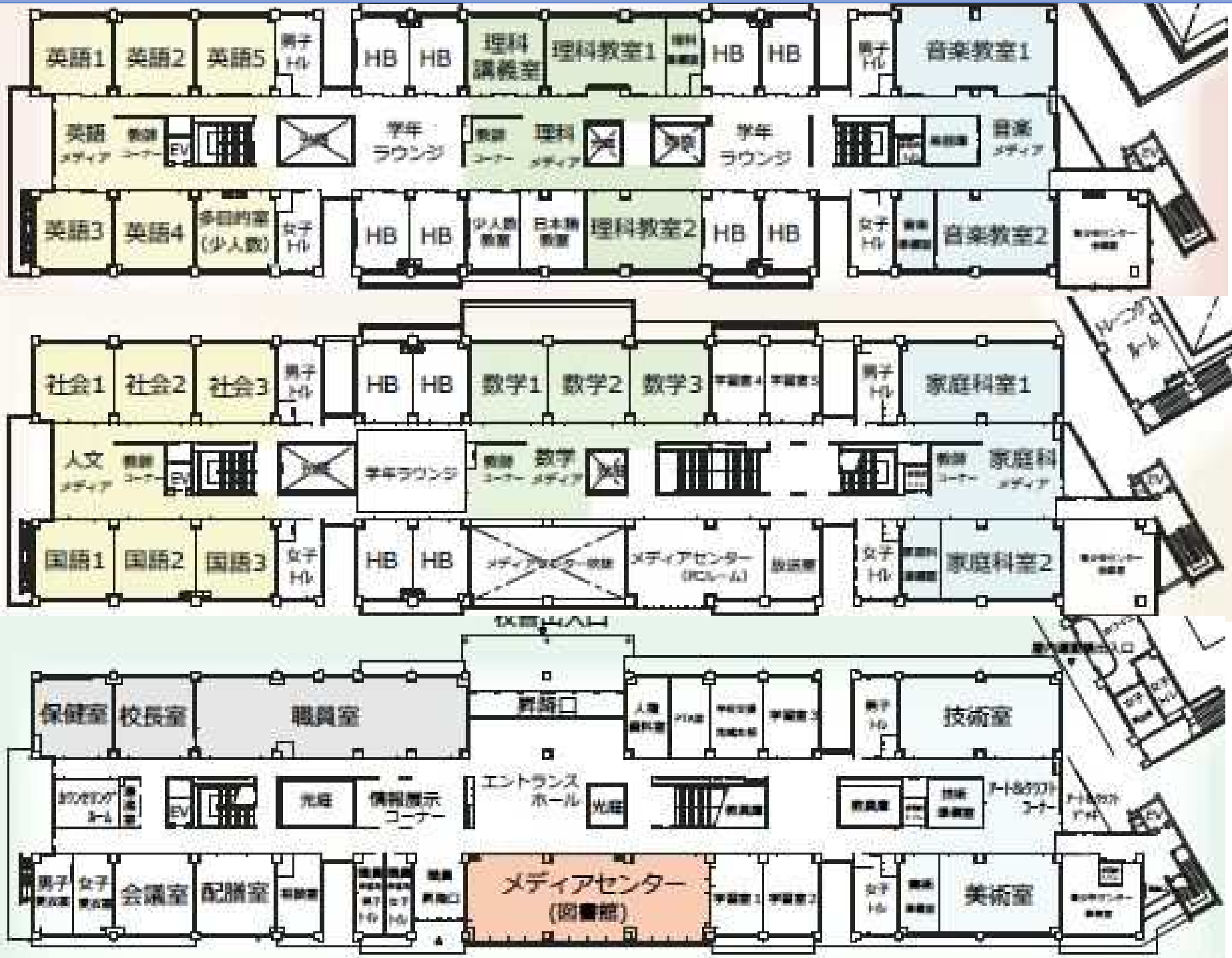
高学年ユニット：CR+OS+収納スペース+水回り+クワイエット（静的な場）+教師
コーナー



クラスルーム間のロッカース

奥の静かな場

全教科に専用（特別）教室・各教科学習に最適な環境や教材・多様な学習形態に対応



教科教室型運営＋教科センター方式

泉南中

教科教室のしつらえと使い方：家具、教科専用の掲示が可能、教材も常設可能

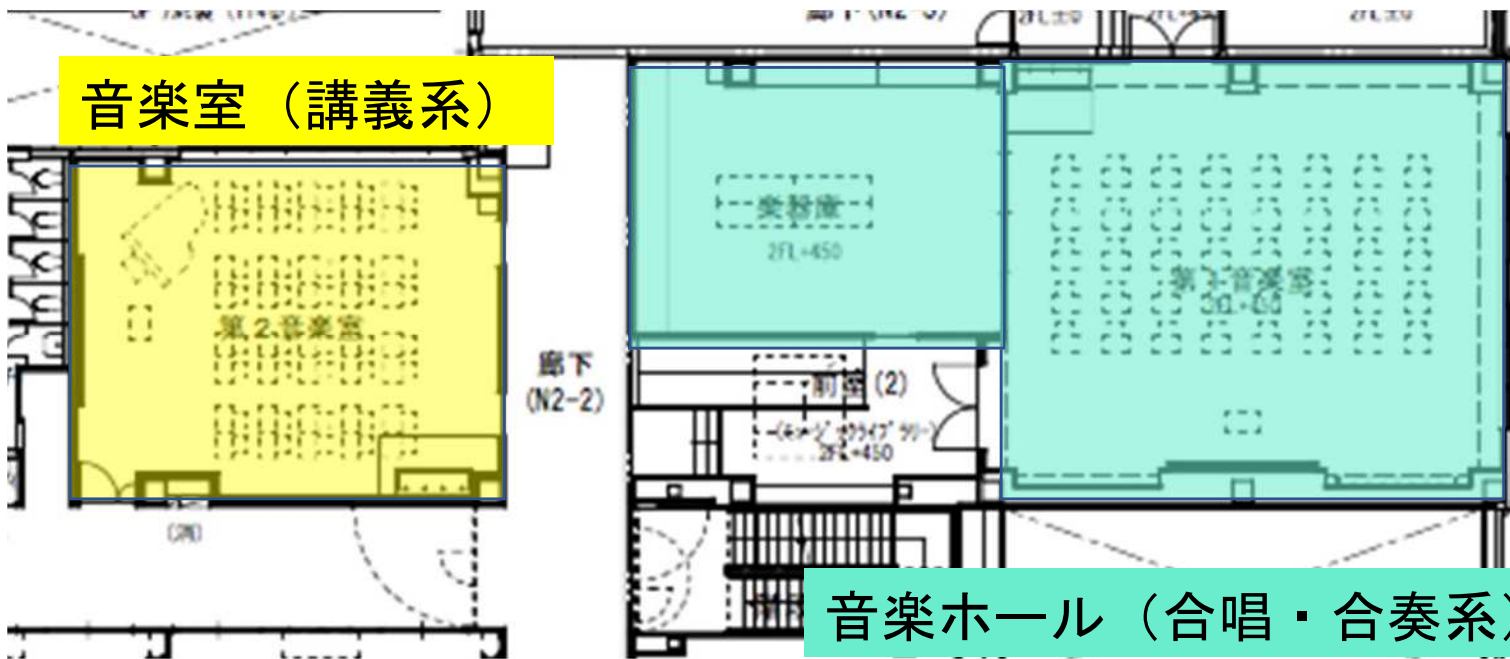


教科メディアセンター：教科学習の支援／多様な学習形態：家具＋教材

教科MC：パソコン・顕微鏡・望遠鏡も自由に使える＝ユビキタスな学習環境
←これまでの理科室＋準備室では不可能なしつらえ、使い方



音楽室（講義系）



一貫校の有意性＝
特別教室の高度
化・多機能化

／音楽室
：小学校音楽室
＋中学校音楽室
（1＋1＝2）



：音楽ホール
＋講義室
（1＋1＝3）



講義室



音楽ホール

多様な理科室の構成⇒高機能化・専門化



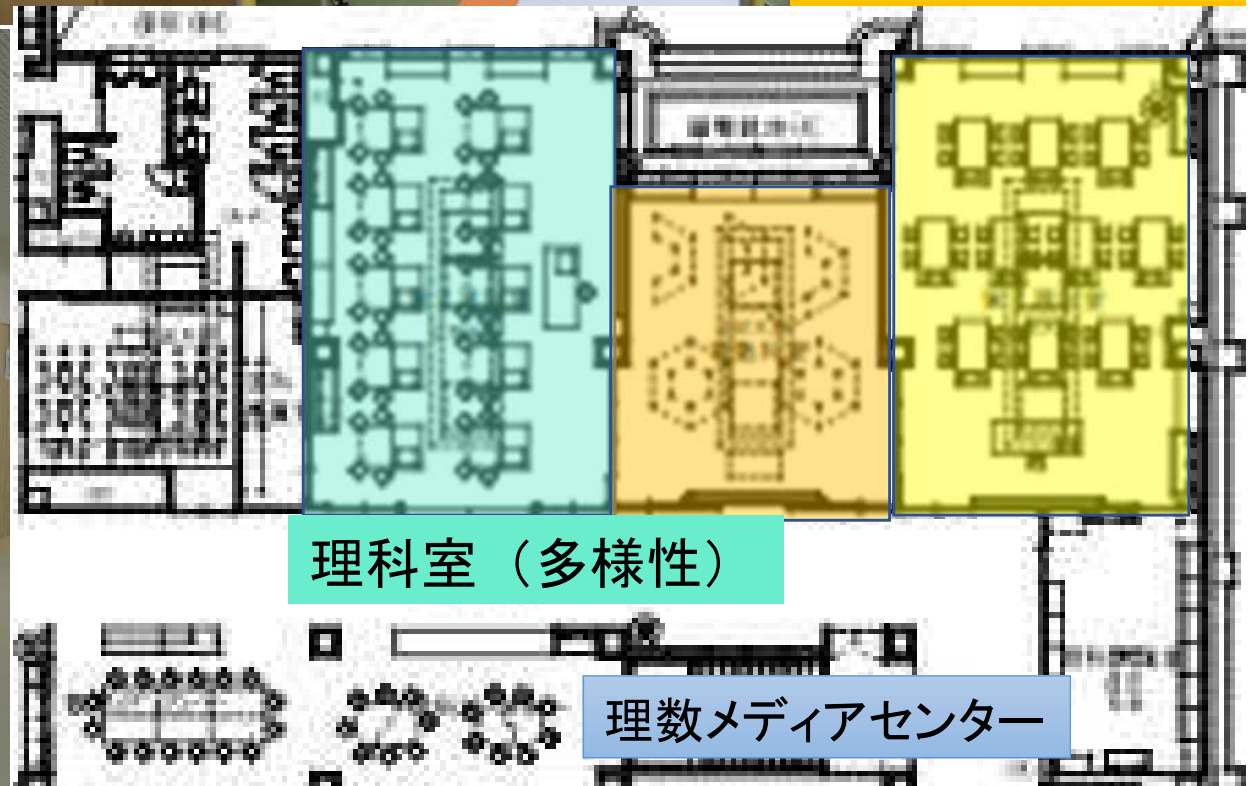
理科室（実験系）



理科室（講義）



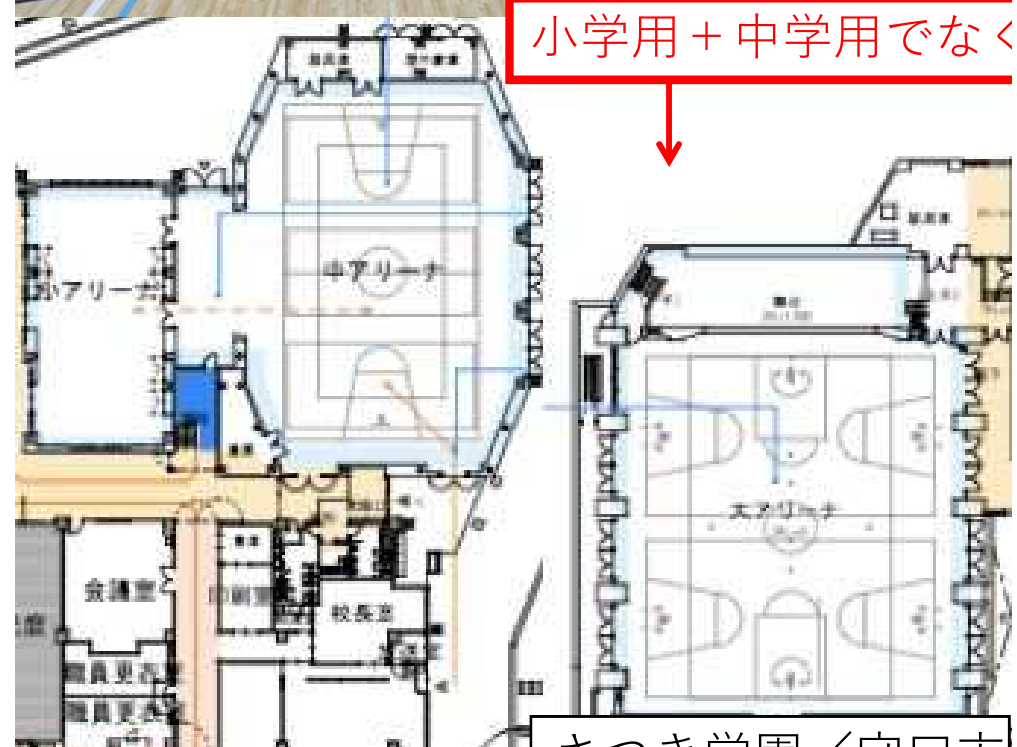
理数メディアセンター



理科室（多様性）

理数メディアセンター

一貫校の有意性：小学＋中学（1＋1＝2）／小学校専用＋中学校専用
⇨高機能＋多機能（1＋1＝3）／共用化

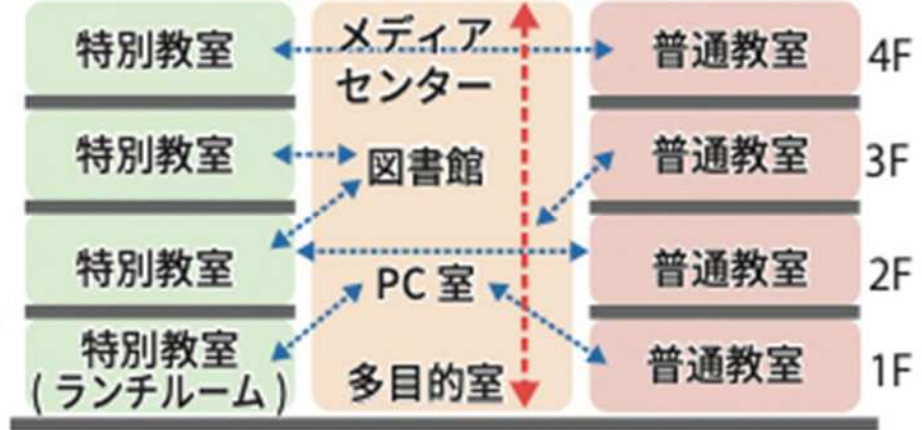




関係性を創る
他学年への刺激
: 活動・作品を開く
／「ショーウィンドウの
ように」
教材の展示、
自由利用
内部の視認性



メディアcommons



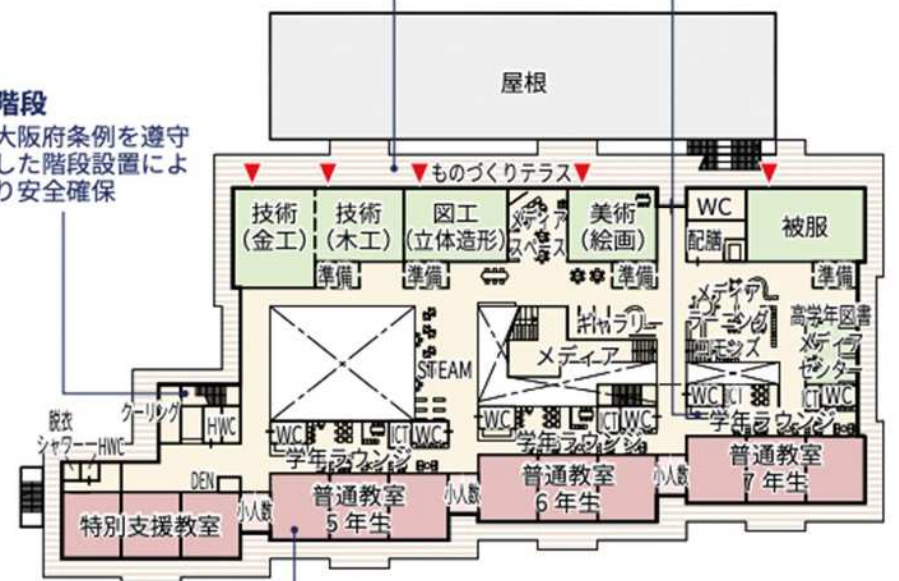
断面イメージ

4つのcommonsをつなぐメディアcommons

ものづくりテラス
 活動がハスの葉モールに展開・表出され、視覚・活動・気配面で地域つながる。

教師コーナー
 児童が気軽に相談しやすい場所に設置

階段
 大阪府条例を遵守した階段設置により安全確保



階段
 大阪府条例を遵守した階段設置により安全確保

上足エリア EV
 履き替えるための 車いす対応車止め

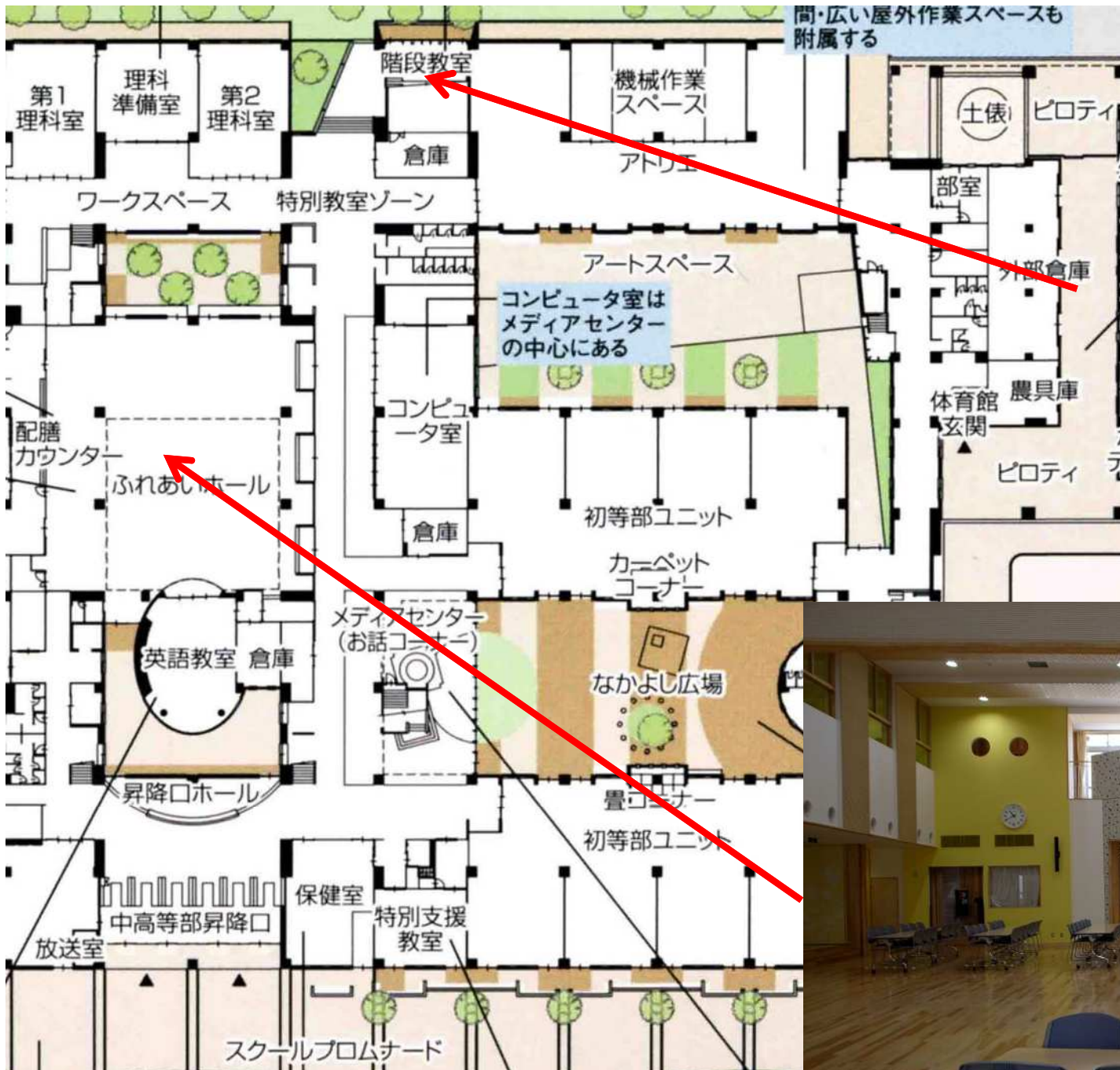


多様な関係性をつくる
 対面性・回遊性・開放性の計画
 ⇒
 多様なヒト・コトとの出会いの機会を促す



さつきでつれしかたこと 4/20
① ろうかを歩いていると、えんぴつの(水)音だけが聴こえて来ます。きのうは、9年と6年の学カテストがあり、1時間目。みんな真剣なようす。まなざしでがんばっていました。どんなことにも**真剣に自分の力を出し切ろうとするやる気は、**本当にかっこいいです。本当に立派です。
② 4年の仲間が7・8・9年の仲間のくつ入れを1つづつを出してふいてくれました。2年のなかまは、あかのかいだんをきれいにそじしてくれました。そじを見ていると、2年から6年のなかまは、そじとでも**いぬい**です。この**いぬい**さがさつき学園をきれいにしてくれているんですね。本当にいつもありがとう。

関係性をつくる
／空間を開く
：異学年交流
：異学年のつながり



関係性をつくる：共用空間⇨計画的・偶発的な異学年交流の拠点

図書メディアセンターの計画⇨ヒト・モノ・コトの関係性

- ・ヒトの関係性をつくる: 異学年、偶発的な出会い
- ・メディア中枢: アクセシビリティ、視認性、多様なしつらえ、メディアネットワーク

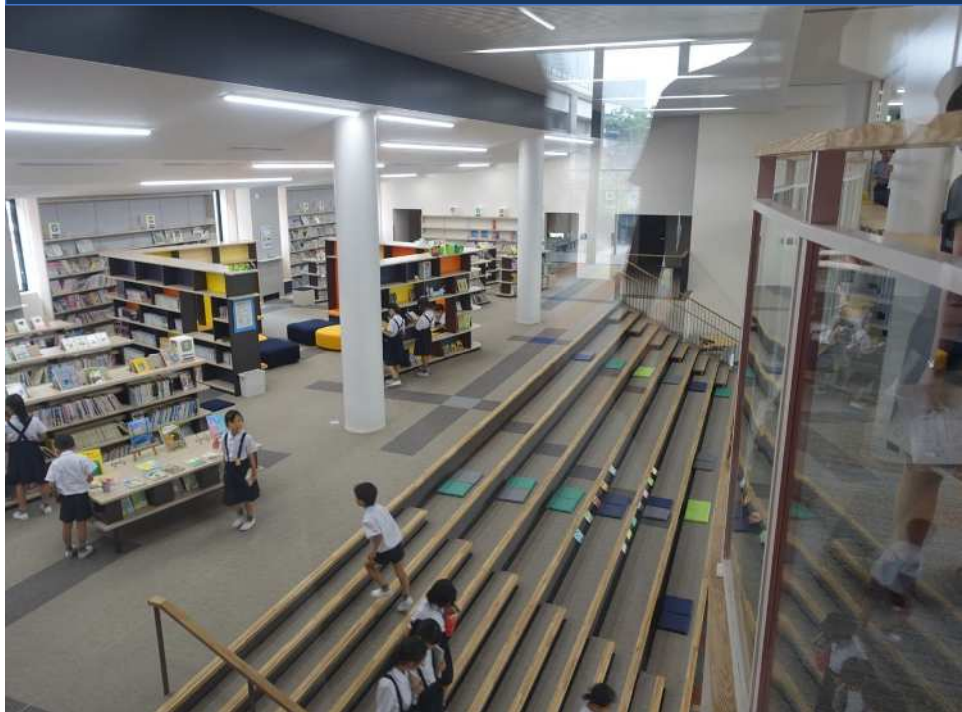




低学年（1～4年）メディアセンター



高学年（5年以上）メディアセンター



身体差と家具



共用化に向け可変型の家具（調理室台）

Hs 小中学校	机	天板の大きさ	音楽室 600×400	PC室 1500×500	図書室 1200×600	技術室 1500×900
		高さ	730	780	640	750
		調整と可動	調整可能（固定）	調整不可	調整不可	調整不可
	椅子	座面の大きさ	360×360	420×380	430×430	300×300
		高さ	400	430	400	470
		調整と可動	調整可能（固定）	調整不可	調整不可	調整不可

	美術室	理科室	家庭科室	みんなのリビング	
	1800×900	1800×990	2100×700	1800×900	1800×900
	750	650	800	650	700
	調整不可	調整不可	調整不可	調整不可	調整不可
	300×300	φ370	—	390×390	390×390
	470	450	—	350	400
	調整不可	調整可能（可動）	—	調整不可	調整不可

Gk 小中学校	PC室	図書室		技術・美術室		理科室	家庭科室
	1400×800	1800×450		1800×900	1700×980	3200×800	1800×900
	700	700		750	700	780	780
	調整不可	調整不可		調整不可	調整不可	調整不可	調整可能（可動）
	420×380	φ300	380×380	300×280	300×280	300×280	—
	600	400	420	380	420	420	—
調整可能（可動）	調整不可	調整不可	調整不可	調整不可	調整不可	—	

Fm 学園	図書室	技術室	美術室	理科室（中）
	3000×900	1800×900	1800×900	3000×900
	750	800	800	750
	調整不可	調整不可	調整不可	調整不可
	300×300	300×300	300×300	300×300
	450	450	450	450
調整不可	調整不可	調整不可	調整不可	

音楽室（中）	理科室（小）	教科教室
600×400	3000×900	600×400
730	750	750
調整不可	調整不可	調整可能（固定）
300×300	300×300	300×300
450	400	450
調整不可	調整不可	調整可能（固定）

家具サイズ

「中は小を兼ね」

凡例

□：小学生向け

<基準>

机高さ < 700

椅子高さ < 420

■：中学生向け

<基準>

700 ≤ 机高さ

420 ≤ 椅子高さ

在来型の職員室：
固定席→小中間の交流・連携、随時の相談などの難しさ





教員スペース：フリーアドレス固定席がなく、業務内容に応じた就労環境の選択

職員室の開放化 + 教師コーナーの設置 : 教師一児童・生徒のコミュニケーション



小中一貫校の計画—課題：一貫性の強化、教育の質的向上

- ・「1 + 1 = 3」の計画：単独では難しいハード・ソフトの実現
：相補的、相乗的、相互的計画
- ・多様なヒト(異学年・教師・地域)、モノ(学習・生活環境)、コト(活動)との繋がりを仕組む
- ・小中一貫は「目的ではなく、手段である」
- ・小中学校の文化の違いを前提に、その摺り合わせが必要
- ・教師間の密な連携、相互理解が必須

施設計画

- ・[小学校+中学校：小中各々のまとまりを基本単位に合築・複合]
⇒[一貫校：小中の各々を原単位とせずに新タイプの学校づくり、創発的融合・混成型]
—小中のまとまり、低中高のまとまり、ゾーニング・各々の空間計画の独自性(ex. A型、U+V型、V型)
—領域構成or無領域化、専用・共通領域の計画、発達段階の違いに応じたスケールやセッティング
—一貫校独自の空間計画、高機能化、面積的な効率性や潤沢性

運営計画

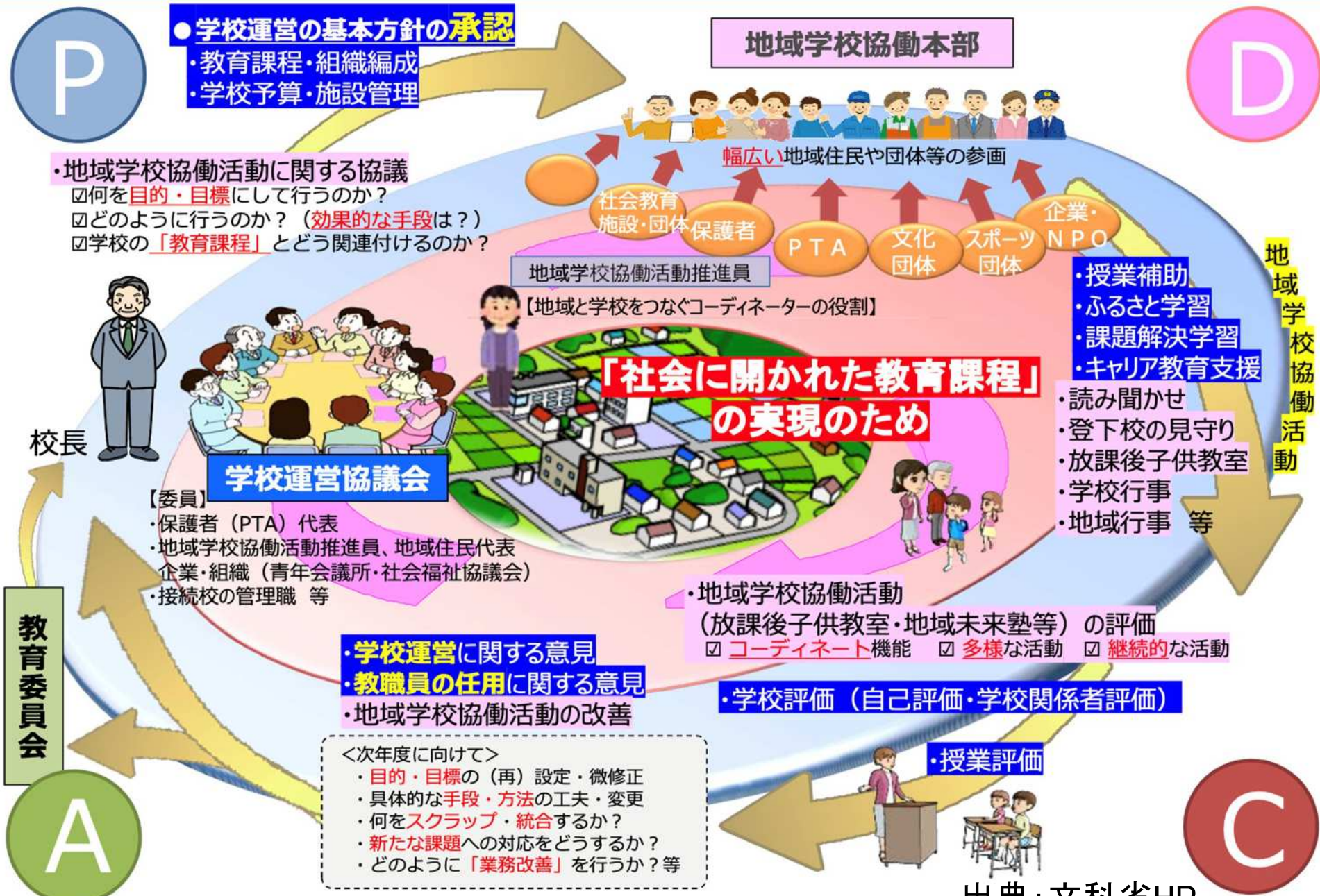
- ・学校文化、制度(教科担任・学級担任、授業時間、免許など)、慣習など、小中の違いの摺り合わせ
- ・教員連携の有効な方法や考え方、合理性
- ・小中、低中高のまとまりのつくり方、使い分け方：中学年の位置づけ、独自性
- ・学区：統廃合における一貫校の位置づけ(統廃合のための一貫校、一貫校による学校の持続)
：小学校区と中学校区の整合性
- ・一小一中<n小一中：連携校における取り組み、質的向上
- ・地域や学校現場の理解や合意：ワークショップなどの参加の仕組み(直線型／漂流型)
- ・地域拠点としての一貫校の役割、可能性



コミュニティスクールの構築

「9年間の安定的・長期的な地域・学校の間係を活かす」

一貫校の有意性：9年間の長期化による安定した学校と地域の関係

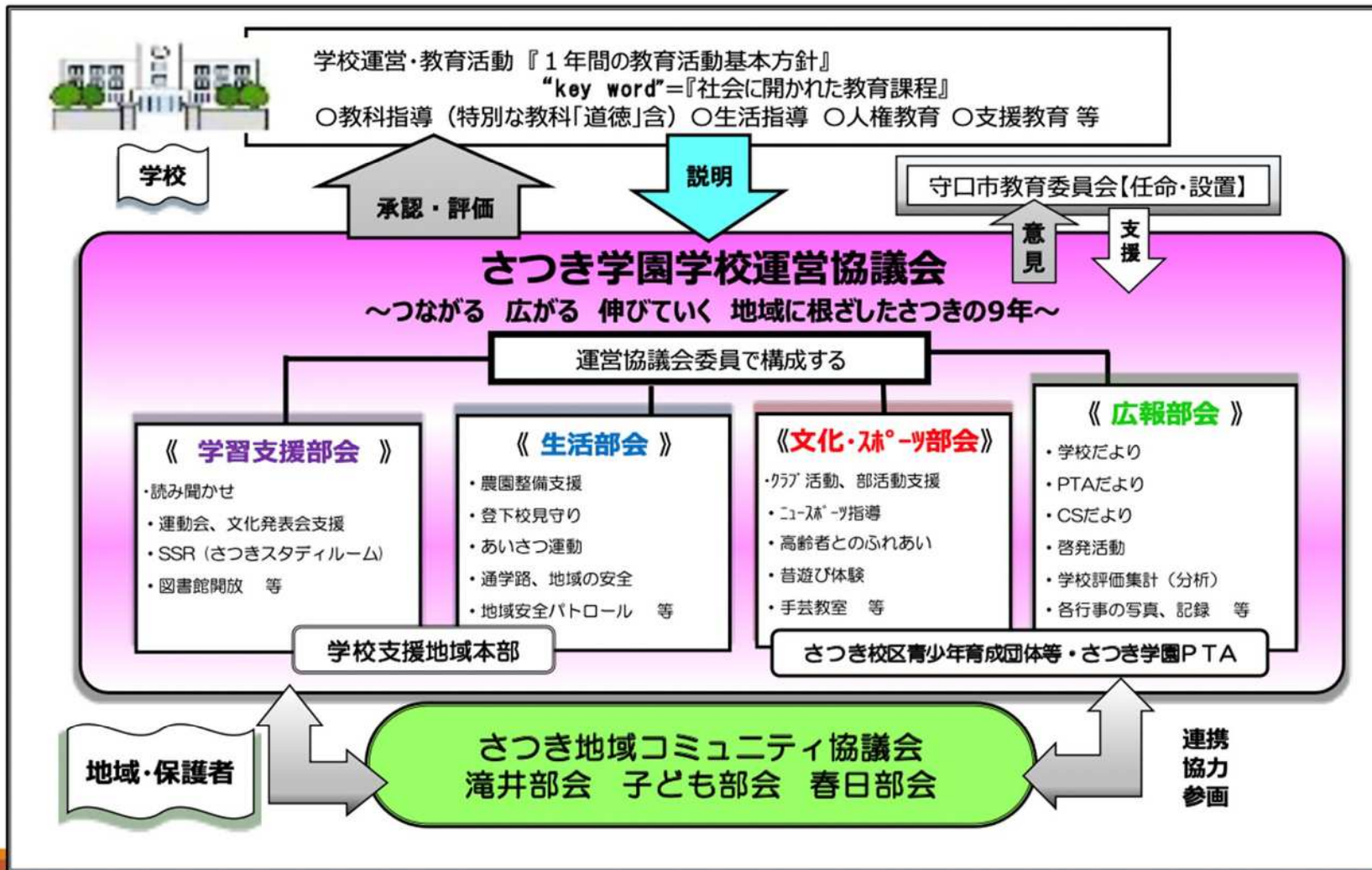


出典：文科省HP

：学校運営協議会・地域学校協働活動・社会に開かれた教育課程

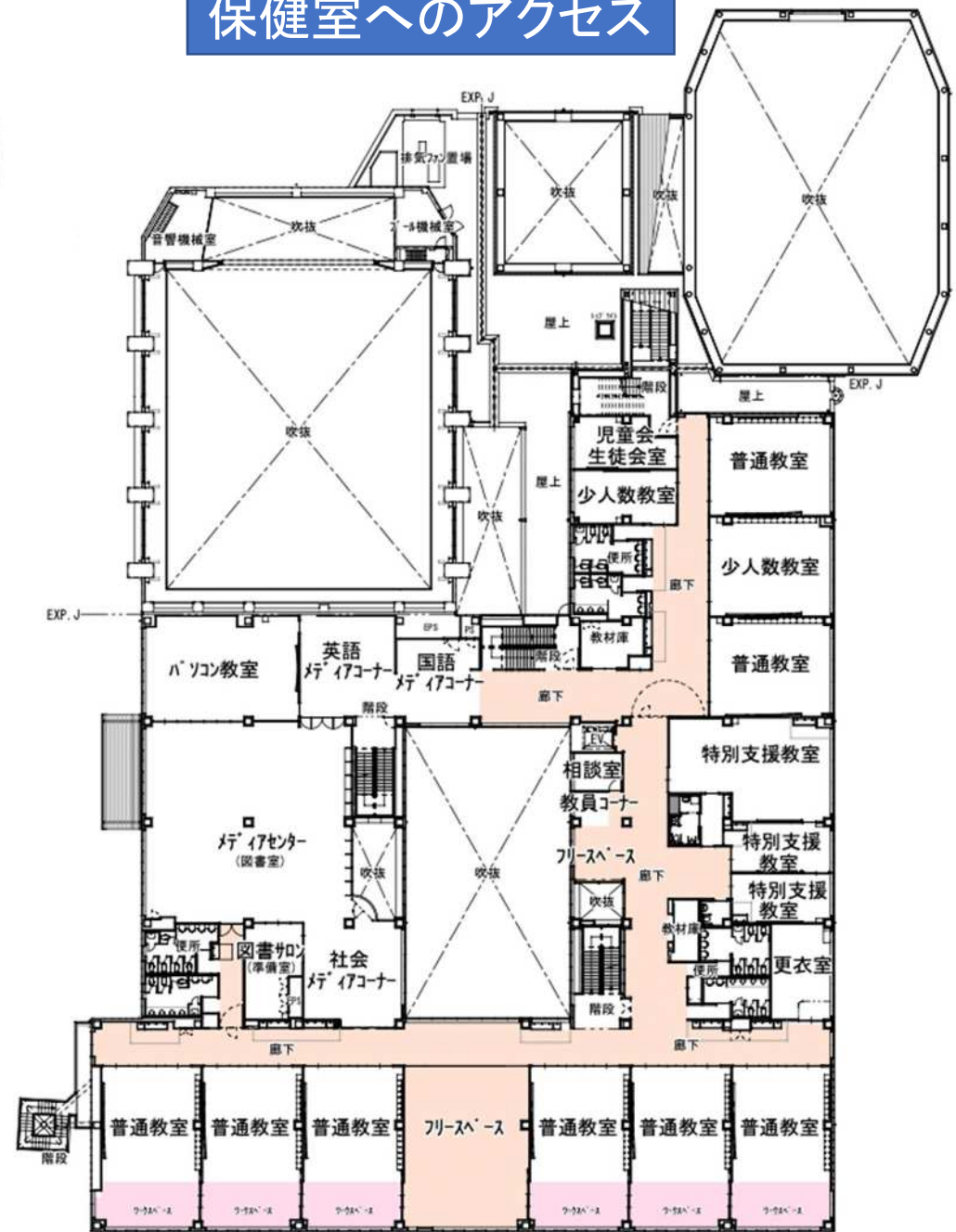
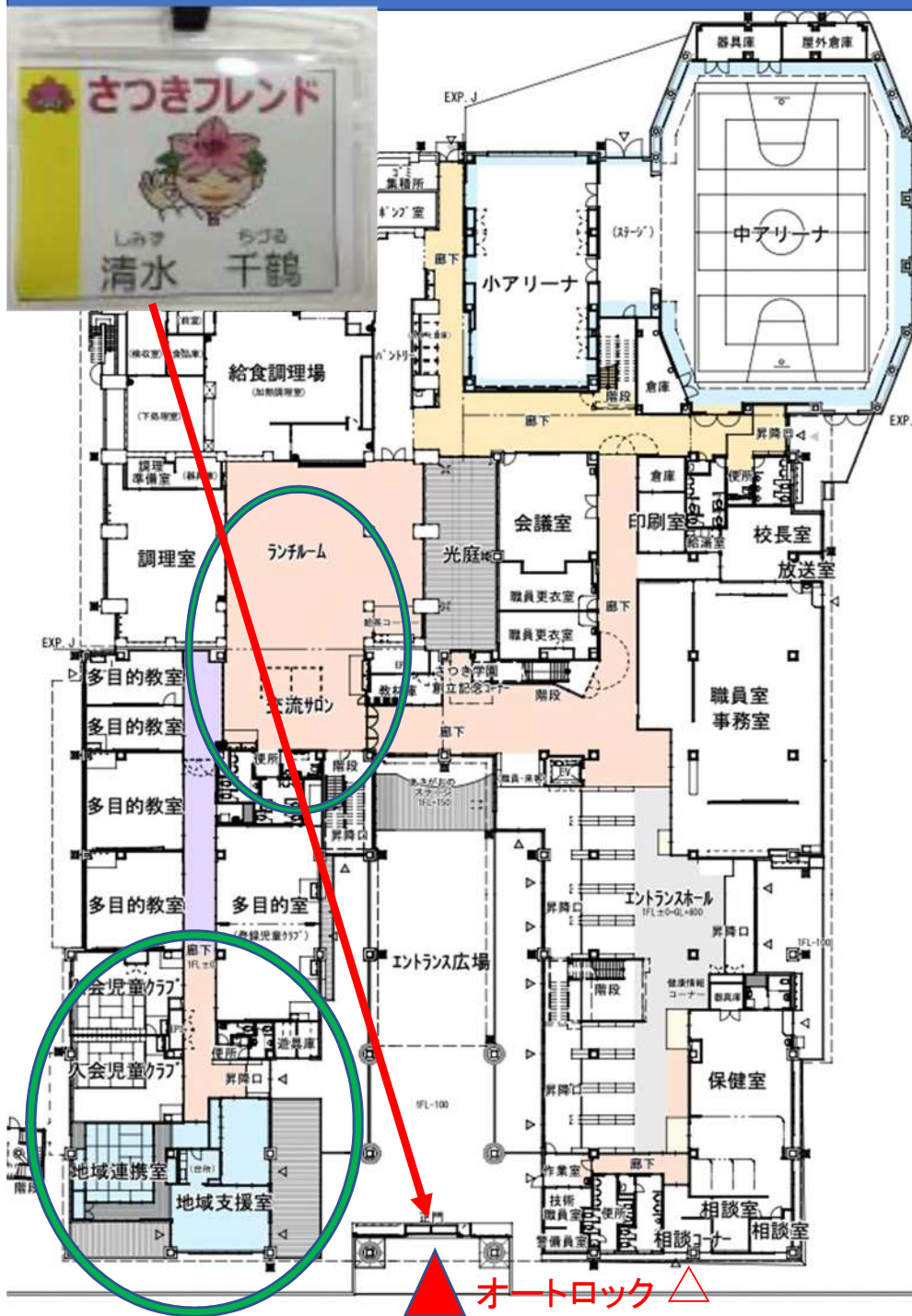
「地域とともにある学校」をつくる

いじめのない学校を目指す



計画の特徴：正門脇に地域連携・支援室、ランチルーム兼交流サロン、

保健室へのアクセス

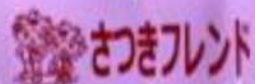


九九ボランティア

10月、11月 9名
放課後、九九の暗唱を聞く



九九を聞いてもらう
ために順番待ち!



校外学習引率

6月
2年生校区探検 14名

習字(4年生)

6月 2名
・準備、姿勢、片付け、はらいなど

水泳監視

6月 2名

わくわく学習会

7月 2名
放課後の自主学習補助

1年生下校見守り

4月 延べ10日間
毎日10~15名

10分間行ってらっしゃい隊

数名
朝の登校時の見守り

バタフライガーデン

年間通して 毎回10~15名
・ガーデンの整備・植栽、草取り

図書ボランティア

毎日昼休み開放 毎日2~3名
・貸出返却の補助、本の整理

1年生下校見守り

校外学習引率

10分間行ってらっしゃい隊



連携活動／学習支援byさつきフレンド

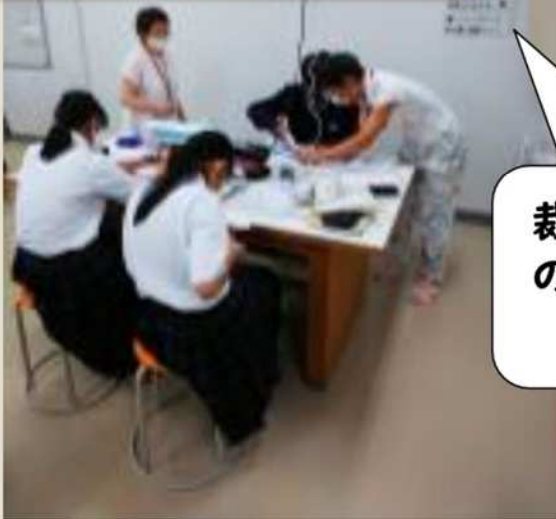
さつきフレンド活動内容

家庭科・裁縫

- ・玉結び、玉止め
- ・ミシン(5年) 17名
- ・アイロン洗濯(6年) 7名
- ・トートバック(7年) 14名



裁縫の得意な地域の女性の方が活躍中です。



技術(9年生)

3学期 授業5回
ゲストティーチャー 1名



「はんだごて」の指導に、地元の電気工事経営の保護者が指導。



一貫校の有意性：地域学校協働活動

学びによるまちづくり・ 地域課題解決型学習・郷土学習

- ◆地域資源を理解し、その魅力を伝えたり、地域活性化のための方策を考え、実行する学習活動
- ◆「ふるさと」について地域住民から学び、自ら地域について調べたり発表したりする学習活動
- ◆地域の産業や商店街の職場体験学習、郷土の伝統・文化芸能学習 など



放課後子供教室

- ◆地域住民の参画を得て、放課後等に全ての児童を対象として行う、学習や体験・交流といった多様な活動



地域未来塾

- ◆中学生・高校生等を対象に、教員OBや大学生などの地域住民の協力によって行う学習支援



家庭教育支援活動

- ◆寄り添いが必要な子供、不登校傾向のある子供等への対応について、保護者が学び合う機会づくり など



学校に対する多様な協力活動

- ◆登下校の見守り、花壇や通学路等の学校周辺環境の整備、子供たちへの本の読み聞かせ、授業の補助や部活動の支援、企業等による出前授業等の教育プログラムの提供（土曜学習応援団）など



地域の行事、イベント、お祭り、ボランティア活動等への参画

- ◆地域イベントにおけるボランティア体験学習、伝統行事やお祭りでの伝統文化・芸能の発表や楽器の演奏、地域の防災訓練への参画 など



地域が学校活動を支援：地域人材・場の提供—総合的学習



(1、2年生の生活科の中で、ソバの栽培から収穫まで行う／地域交流センター)

地域が学校活動を支援／総合的学習・クラブ活動の指導
：指導の専門化、継続性、指導者の生きがいがづくり



手芸サークル



高齢者による「ちよん掛けコマ」



50年記念／博多小

緊急募集中！

教員や学習指導員、
スクール・サポート・スタッフなど
学校に追加配置するため、

85,000人分、
310億円を

補正予算案に計上しました！

※金額は国1/3負担額。
※令和12年度第2次補正予算案
(5月27日閣議決定)

学校をサポートいただける皆様へ

学校・子供応援サポーター 人材バンク開設！

子供たちのために皆様の力を貸してください

今、学校は、子供たちの学習指導や心のケア、感染症対策等、
沢山の大人たちのサポートが必要です。
学校や教育委員会が必要な人材をすぐに探すことができるよう、
御協力いただける皆様からの登録をお待ちしています。



登録フォームはこちら

<https://pf.mext.go.jp/admission/12364-2.html>

簡単登録
1分！

退職教員、教師志望の学生をはじめとする大学生、
学習塾講師、NPO等教育関係者、地域の皆様などからの
ご登録を是非お待ちしております！



文部科学省



スクールサポーター／聖籠中

企業連携による新たな学習プログラム／教科・総合的学習

教科に関連したプログラム

- ・教科で学習する内容の理解を深めたり興味・関心を広げる内容
- ・教科と総合的な学習の時間等を組み合わせて実施するのに適した内容

テーマ(関連教科)	プログラム名	企業・団体名
ものづくり、キャリア教育 (社会)	モノづくりにこめられた熱い思いと優れた技術から学ぼう	武蔵精密工業株式会社
安全・防災、職業教育 (社会・地理)	地図の見方・使い方 ー測量・地図・地理を学ぼうー	国土地図株式会社
論理的思考(算数)	算数学習サポート・プログラム 「算数トライアスロン」	公益財団法人 日本数学検定協会
理科・実験、環境教育(理科)	～集まれ！未来の科学者たち～ ふしぎ探検隊	三井化学株式会社
環境教育(理科)	環境・エネルギー教室 I わたしたちの暮らし エネルギーと環境	中部電力株式会社
建築・設計(図画工作・美術)	小学校の6年間 背の高さの柱に自分をうつす	川島鈴鹿建築計画
デザイン・表現 (図画工作・美術)	デザインを通して、感性を働かせながら創造することへの興味・関心を高める教室	一般社団法人 日本アパレル・ファッション産業協会(JAFIC)
スポーツ(体育)	スポーツボランティア体験教室	特定非営利活動法人 日本スポーツボランティアネットワーク



企業連携による学校
設備の高度化・潤沢化



学校施設活用のコミュニティ活動：地域高齢者の支援 給食サービス／生き生きふれあいサロン



☆わくわくランチサービス☆ のご案内



地域の方々に学校給食を開放し、高齢者等の福祉の向上やふれあいを深めることを目的に、五ヶ瀬町内の小中学校で毎月2回の「わくわくランチサービス」を始めました！！
給食を食べていたあの頃を思い出しながら、学校給食を子どもたちと一緒に食べてみませんか？（※〇＊）
応募はどなたでもかまいません★みんなで、楽しみに待ってま〜す♪

実施日	〇〇月〇〇日(〇)	〇〇月〇〇日(〇)
献立	うま煮、麦ご飯、柿なます	かぼちゃのそぼろ煮、麦ご飯、 酢みそ和え
参加費	230円（小学校で食べる場合） 255円（中学校で食べる場合）	230円（小学校で食べる場合） 255円（中学校で食べる場合）
時間	※中学校は小学校より量が多いです 小学校 12:10~12:55 中学校 12:25~13:00	※中学校は小学校より量が多いです 小学校 12:10~12:55 中学校 12:25~13:00
定員	各学校 6名	各学校 6名

学校と地域の関係化に向けての学校空間の計画・利用

学校

地域

背景：地域ぐるみでの子育て機運の高まり
：生涯学習や地域活動のニーズ、地域コミュニティ再編
：高齢化への対応、子どもと高齢者の相性

教育の場＋地域活動の場への転換・重合

-空間的・視覚的・景観的な連続性

- ：塀のない学校→自由な出入り、親近性
- ：開放性→ビジュアルインターアクション、認知
- ：景観形成、街並み、街の賑わい

-学校施設の地域利用(従来型)

- ：学校開放ゾーン→共同利用(地域による借用)
- ：生涯学習への対応

-地域のための場の確保(地域の専用拠点)

- ：地域交流センター、地域活動の場、連携のための場
- ：学校に制約されない自由な利用、地域の居場所
- ：空き教室の活用・転用

-学校・地域の協働の場

- ：スクールサポーター、人材活用、共用空間(コモンズ)

-学校・地域施設の複合化・転用(学社融合：地域社会の拠点)

- ：社会教育施設(図書館、ホール、講座室)、世代間交流施設
- ：高齢者施設(デイサービス、特養)、保育所
- ：連携利用による機能の高度化
- ：廃校活用

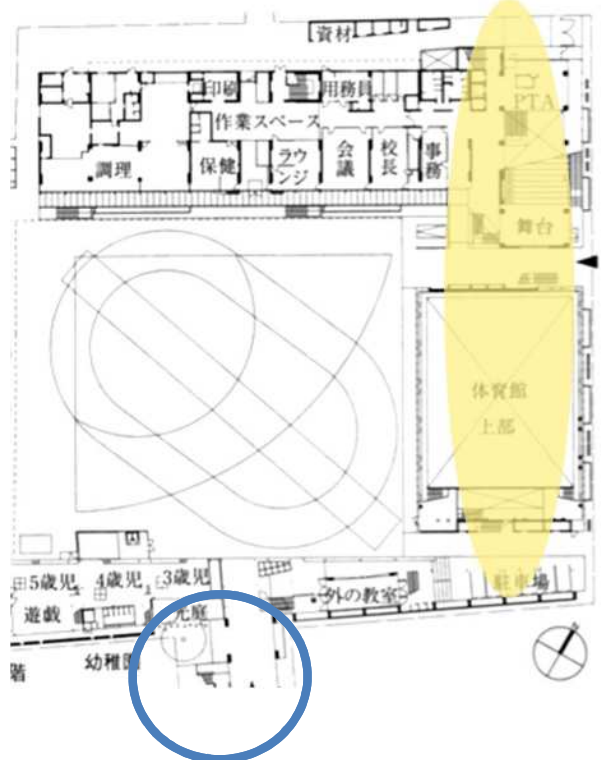
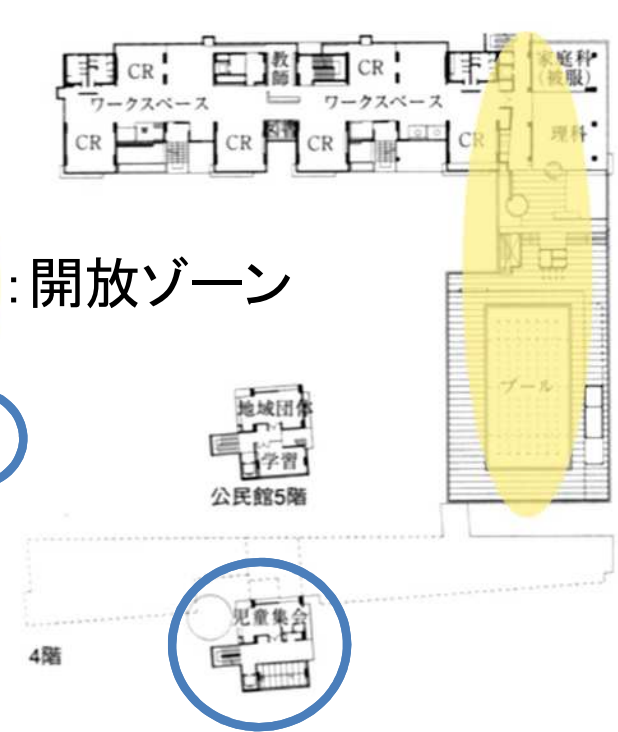
学校機能

社会機能



従来：学校施設の地域利用（学校開放）

- ・特別教室を中心にした開放ゾーンの設定
- ・普通教室、管理諸室との分画
- ・夜間、休日開放
- ・学校と地域の非接触



●：開放ゾーン



大博通り



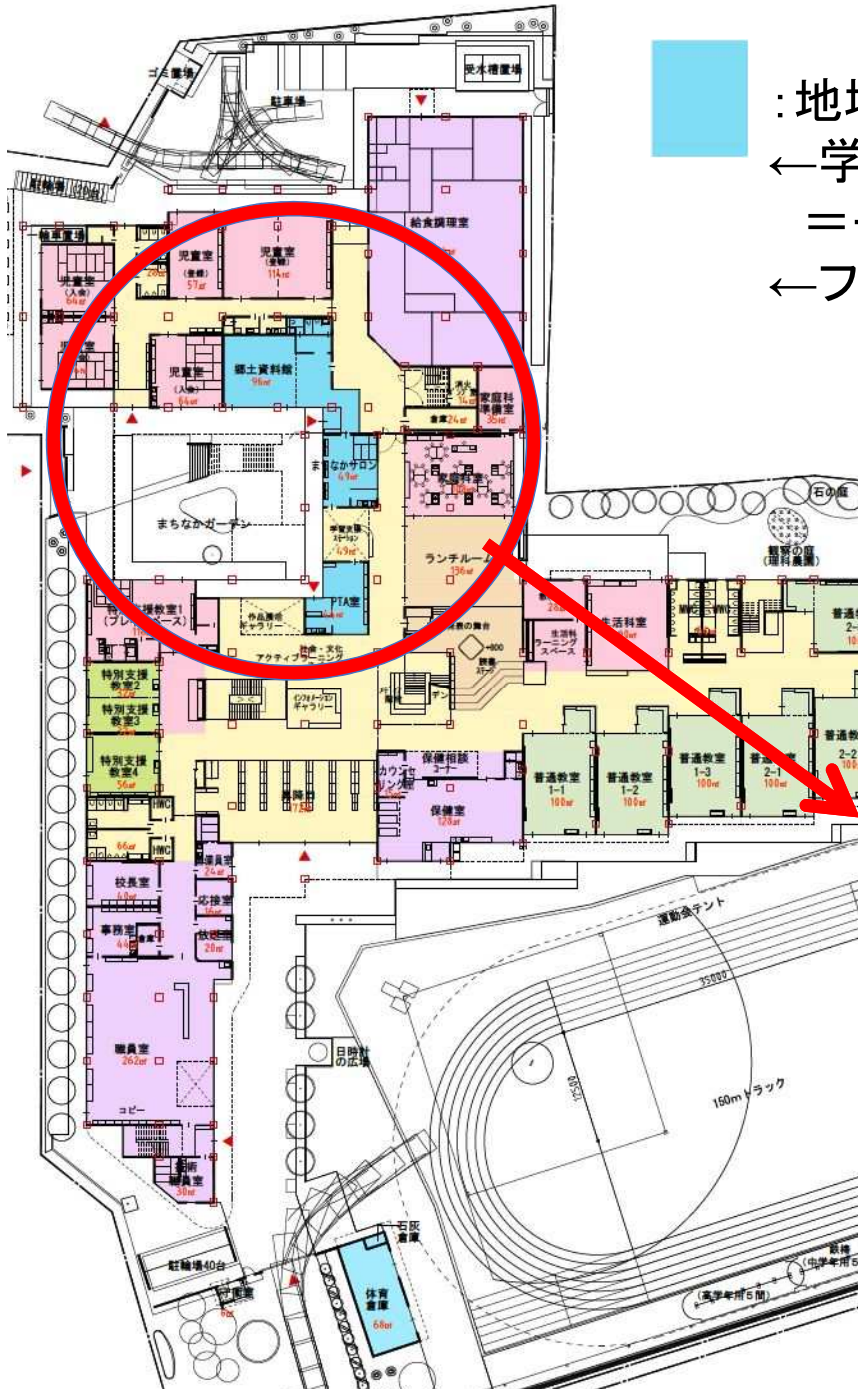


9年間の安定的・長期的な学校地域の関係
×コミュニティスクール

- ①学校・地域エリアの層状、段階の構成
- ②分離から連続・一体・開放性への転換
- ③アクセシビリティ・視認性・気配伝達の向上
- ④学校への気軽で自由な(目的がなくても)立ち寄り:モール・ラウンジ



地域学校の協働の計画：地域の方・交流の場を確保する／よつば小



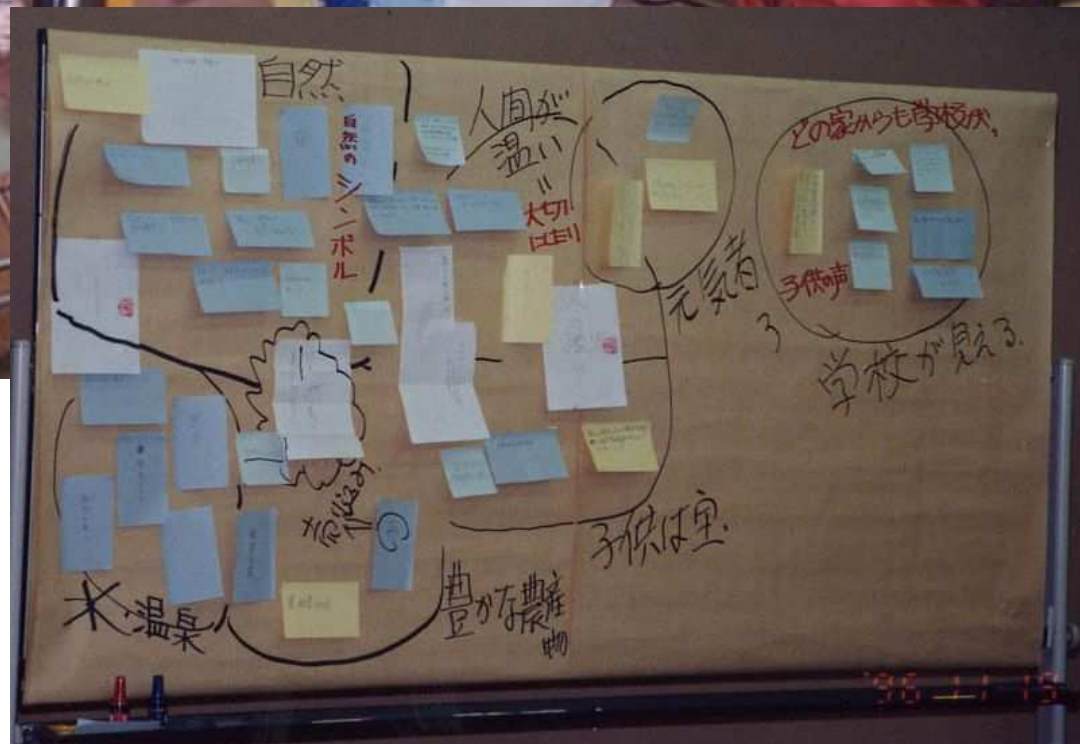
：地域交流スペース：PTA室・まちなかサロン・郷土資料室
←学校空間との連続性・一体性(脱ゾーニング)
＝子どもと地域の出会い・協働の機会の増加
←フリーアクセス

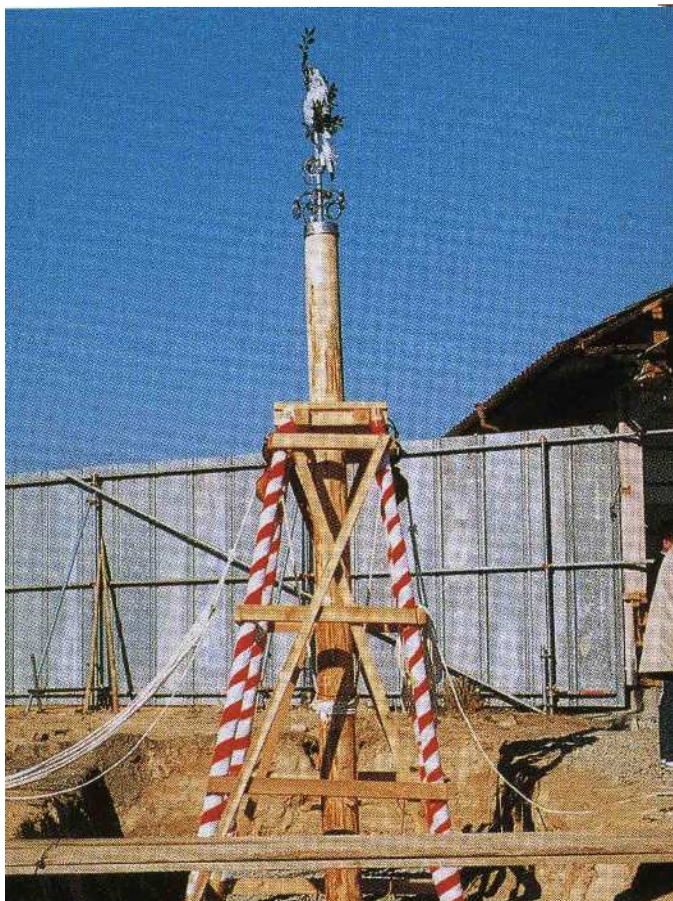


計画段階の地域連携：使い方の検討notプランの検討⇒地域の間



学校づくりへの地域参加：施設に対する希望、基本的枠組みの検討





計画づくり
への地域参
加は、学校
支援のエネ
ルギーとな
る



地域・学校の連携・協働の効果

1. 学校活動の豊かさ

- : 活動の専門性、具体性、多様性、臨場感、刺激の強度
- : 社会性、地域への興味・関心、地域ぐるみの子育て機運
- : 学校の活力、活気の向上 (cf. 小規模校)
- : 学校の個性化、Identity

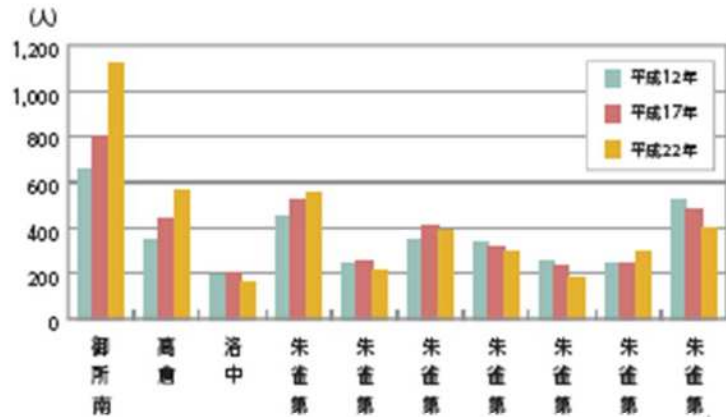
2. 負担軽減

- : 働き方改革、施設機能の効率化 (学校＝地域施設)、ボランティアの成立
- : 学校運営の潤滑化
- : 継続性

3. 地域の豊かさ

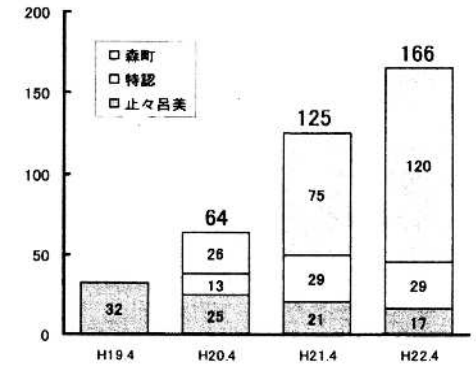
- : コミュニティ活性化 (人的繋がり、身近な活動の場、機能)
- : 地域資源への関心と継承・発展、生きがい・自己実現、子どもへの関心

地域づくりと学校づくりの連動：学校力を活かす地域づくり(定住人口)



とどろみの森(箕面)

学年	クラス数	児童・生徒数
1年	1	29
2年	1	35
3年	1	22
4年	1	18
5年	1	16
6年	1	11
7年	1	13
8年	1	12
9年	1	10
支援学級	3	(11)
合計	12	166
小学校		131
中学校		35



御所南小学校(京都)

不動産屋さんのお友達が、御所南学区だと他の学区の同レベルの物件の2～3割増しの値段設定でも確実に売れると言っていました。御所南学区だと新築の60平米は西向きや低層階で我慢しても4500万は下らないのかもしれないね。

人気の御所南小学校学区。「三条御幸町」にある分譲賃貸3LDK。京都生活を謳歌できるおすすめ物件。

- 1997年：「総合的な学習」研究校
- 2003年：民間学力調査でトップの成績 / NHK放送
- 2004年：コミュニティ・スクール指定
- 2006年：フィンランド方式（読解力）



ご清聴ありがとうございました